

清須市公共交通に関する意識調査 報告書



平成 29 年 2 月
清 須 市

清須市公共交通に関する意識調査報告書

目 次

1	はじめに	1
2	調査概要	1
3	調査内容	2
4	回答者の属性	3
5	調査結果（単純集計）	6
(1)	日常の主な行先	6
(2)	日常の行先へ行く頻度	10
(3)	日常の行先への手段	12
(4)	日常の行先への移動の満足度	14
(5)	日常の行先への公共交通・徒歩での到着可能性	16
(6)	自動車の運転免許証保有・利用可能性	18
(7)	自家用車をやめる可能性	19
(8)	自転車利用環境	20
(9)	徒歩環境	21
(10)	最寄駅への移動の満足度	21
(11)	あしがるバスの認知度	22
(12)	あしがるバス利用の有無	23
(13)	あしがるバス利用頻度	23
(14)	あしがるバス利用の目的	24
(15)	どうすれば「あしがるバス」を今よりも利用したいと思うか	25
(16)	時刻表・全体ルート図のわかりやすさ	25
(17)	鉄道・バス乗り継ぎに必要なこと	26
(18)	タクシー年間利用	26
(19)	合併後の旧他町地域への移動の増加	27
(20)	あしがるサイクル	28
(21)	あしがるバス一日乗車券の認知度	29
(22)	運転免許証返納時の無料乗車券発行の認知度	29
(23)	現在のあしがるバスへの市負担の妥当性への意識	30
(24)	運賃水準の妥当性	31
(25)	妥当な運賃	31
(26)	利便性向上と市費投入	32
6	調査結果（あしがるバスの利用可能性が高い層の分析）	33
(1)	「クルマがほとんど使えない人」を対象に分析	33
(2)	「自家用車をやめることができる人」を対象に分析	35
(3)	「あしがるバスを利用している人」を対象に分析	36
7	自由意見	37

【参考資料】 「清須市公共交通に関する意識調査」調査票

1 はじめに

- この度、国立大学法人名古屋大学大学院環境学研究科と連携し、本市が進める地域公共交通政策の現状に対する市民の意識を明らかにするために、市民を対象に「清須市公共交通に関する意識調査」を実施した。
- 本報告書は、その調査結果を分析することで、今後の地域公共交通政策の方向性を見出すための知見を得ることができるため、調査結果の概要をまとめたものである。

2 調査概要

- 清須市民 2,000 人（住民基本台帳より無作為抽出した 16 歳以上の市民）に郵送配布・郵送回収で意識調査を実施した。
- 平成 28 年 9 月 23 日（金）に発送し、10 月 7 日（金）まで回収を行った結果、合計 804 部が返送された。
- 回収率は 40.2%であり、この種の調査としては平均的な値である。

(1) 意識調査の主な目的

- 網計画で掲げる本市の公共交通の充実に向けた基本的な方針（取組の方向性）に即して、本市の「公共交通の充実」の度合いを図る。
- あしがるバスのルート・ダイヤ改正（平成 29 年 10 月実施予定）の検討材料とするための市民ニーズを把握する。

(2) 対象者

2,000 人（住民基本台帳より無作為抽出した 16 歳以上の市民）

(3) 調査方法

郵送調査法（郵送配布・郵送回収）

(4) 調査期間

平成 28 年 9 月 23 日（金）から 10 月 7 日（金）まで

(5) 回収率

40.2%（804 部）

(6) 調査結果の留意事項

- ① 図表は、単回答の設問は円グラフで表し、複数回答の設問は棒グラフで表している。
- ② 図表の「N」は回答者数を表し、「M.T.」は複数回答の回答計を表している。
- ③ 図表の比率は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、各項目の比率の合計が 100%にならない場合がある。
- ④ 複数回答の設問の回答割合は、回答者数(N)を分母として算出している。

3 調査内容

意識調査では以下の項目を調査している。調査票は参考資料として巻末に添付した。

<普段の外出について>

- 問1 日常の主な行先
- 問2 運転免許証の保有
- 問3 自家用車の利用可能性
- 問4 自家用車の利用をやめる可能性
- 問5 徒歩・自転車移動の満足度

<市内の公共交通について>

- 問6 あしがるバスへの意識
(1) 認知度 (2)~(4) 利用状況 (5)・(6) 利用意向
- 問7 あしがるバス時刻表・全体ルート図への好感度
- 問8 鉄道・バス乗り継ぎへの意識
- 問9 タクシーの利用状況

<交通政策のあり方について>

- 問10 合併による移動の変化
- 問11 あしがるサイクルの認知度・利用意向
- 問12 あしがるバス一日乗車券の認知度
- 問13 運転免許証返納者へのあしがるバス無料乗車券配布の認知度
- 問14 あしがるバス運行に対する市負担への意識
- 問15 あしがるバス運賃水準への意識
- 問16 あしがるバスの利便性と市負担とのバランスへの意識

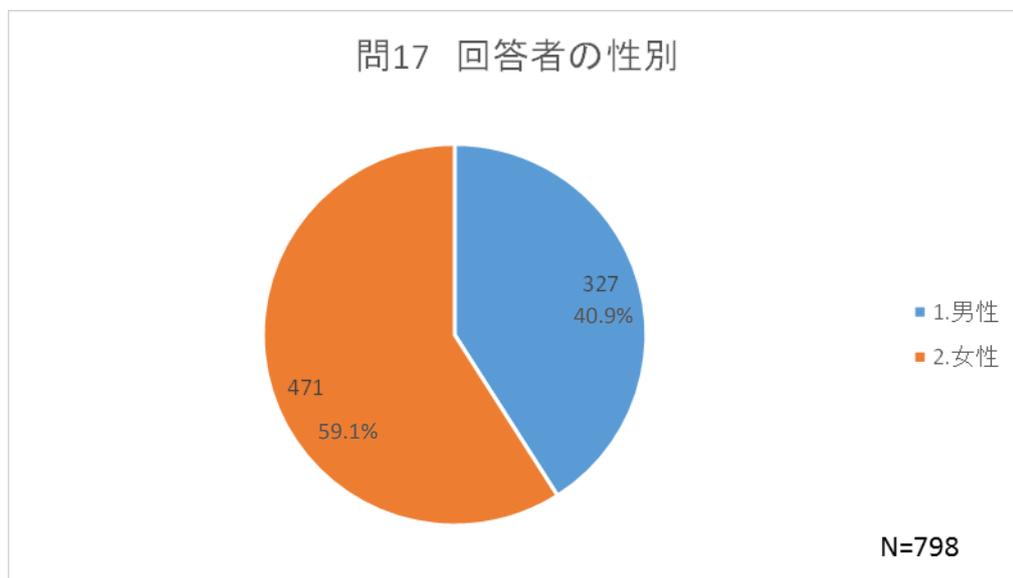
<あなた自身のことについて>

- 問17~22 性別、年齢、職業、同居者数、家族構成、居住地
- 問23 自由意見

4 回答者の属性

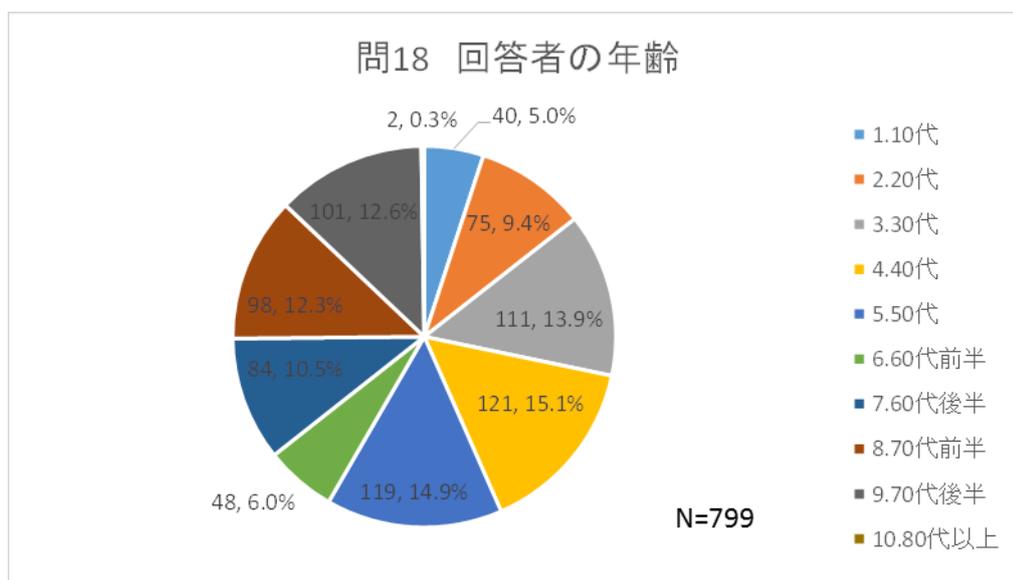
(1) 性別

- ・女性がやや多い。この種の調査では一般的な傾向である。



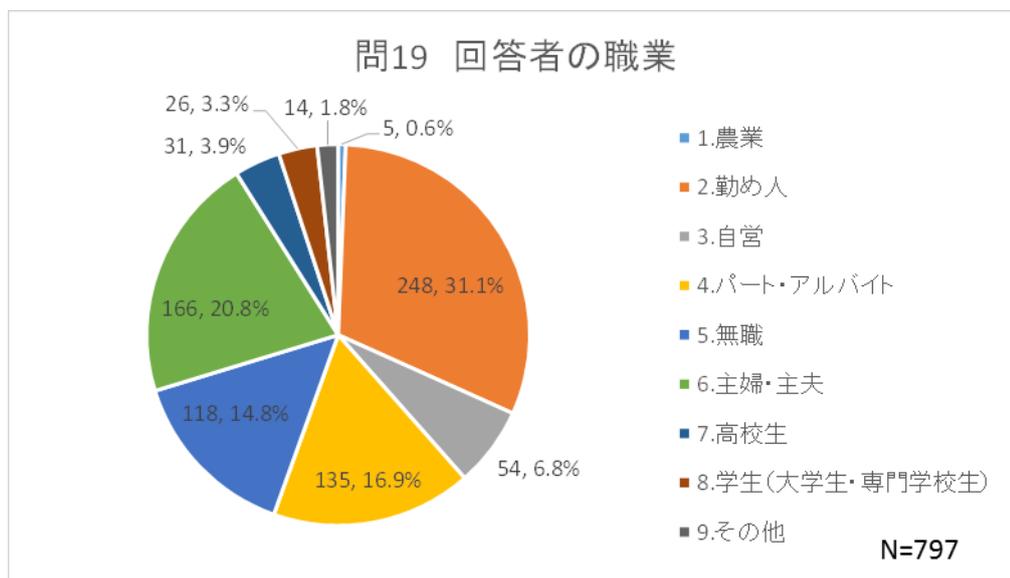
(2) 年齢

- ・高齢者がやや多く回答している。これもこの種の調査では一般的な傾向である。

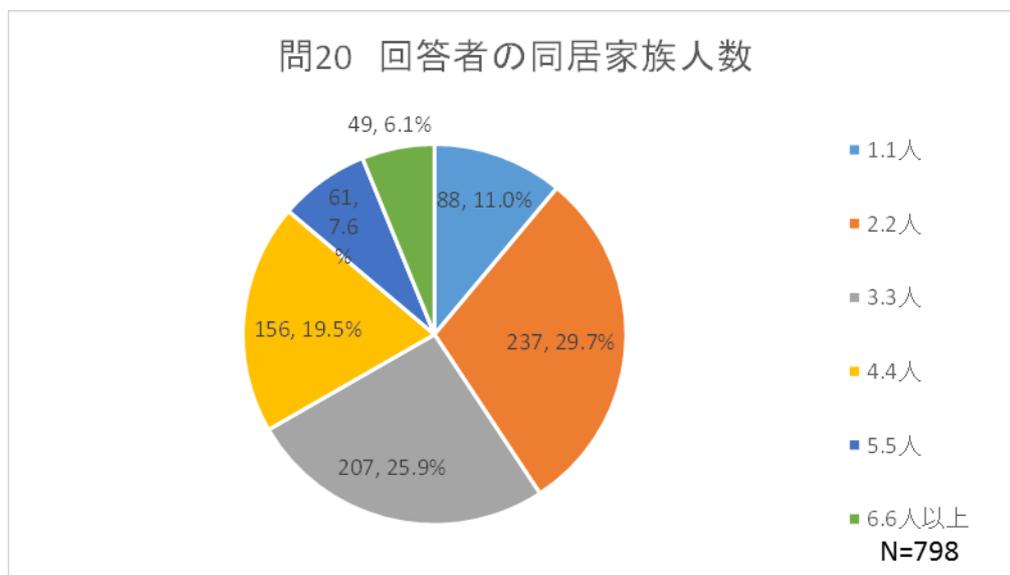


(3) 職業

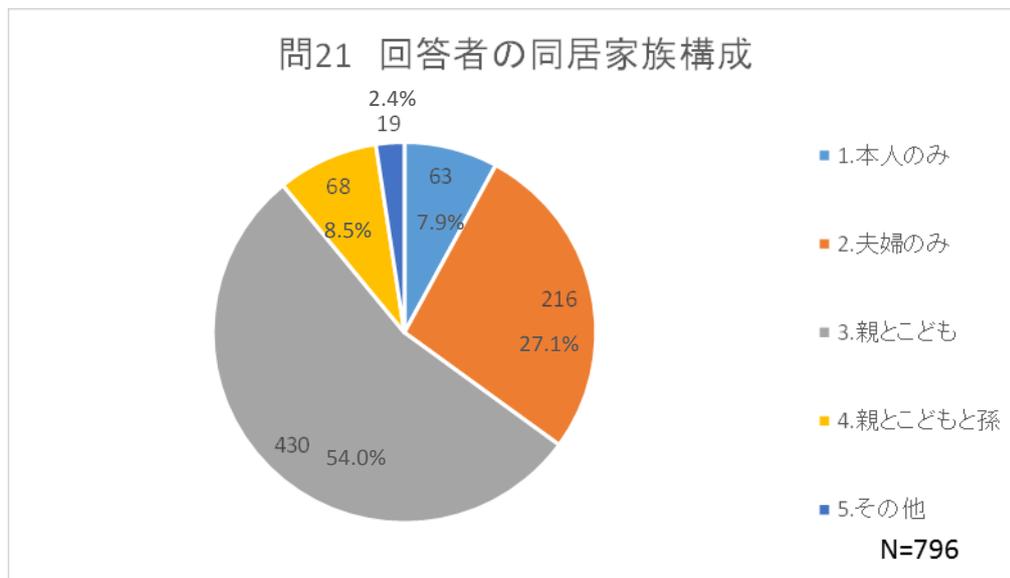
- ・職業は、特に偏っているようには見受けられない。



(4) 同居家族人数

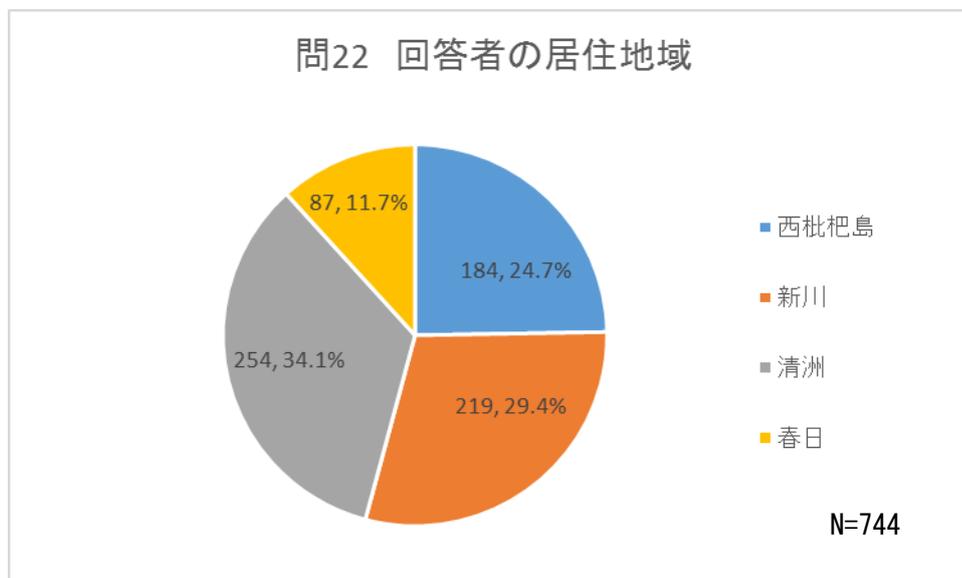


(5) 家族構成



(6) 居住地

- ・各地域の人口比率に近い。



5 調査結果（単純集計）

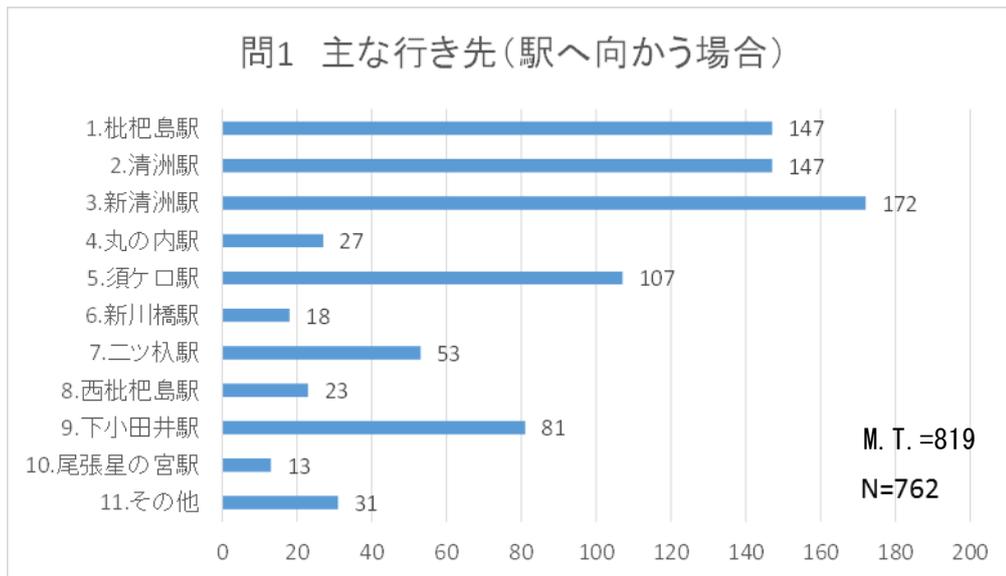
(1) 日常の主な行先

回答者の居住地域別（西枇杷島地域 184 人、新川地域 219 人、清洲地域 254 人、春日地域 87 人）の割合を分析した。

① 駅

名鉄新清洲・J R 枇杷島・J R 清洲が多く、名鉄須ヶ口が続く。

- ・西枇杷島地域：下小田井（69 人<38%>）、枇杷島（62 人<34%>）、二ツ杵（28 人<15%>）、西枇杷島（21 人<11%>）
- ・新川地域：須ヶ口（98 人<45%>）、枇杷島（65 人<30%>）
- ・清洲地域：新清洲（155 人<61%>）、清洲（76 人<30%>）
- ・春日地域：清洲（60 人<69%>）、稲沢（11 人<13%>）



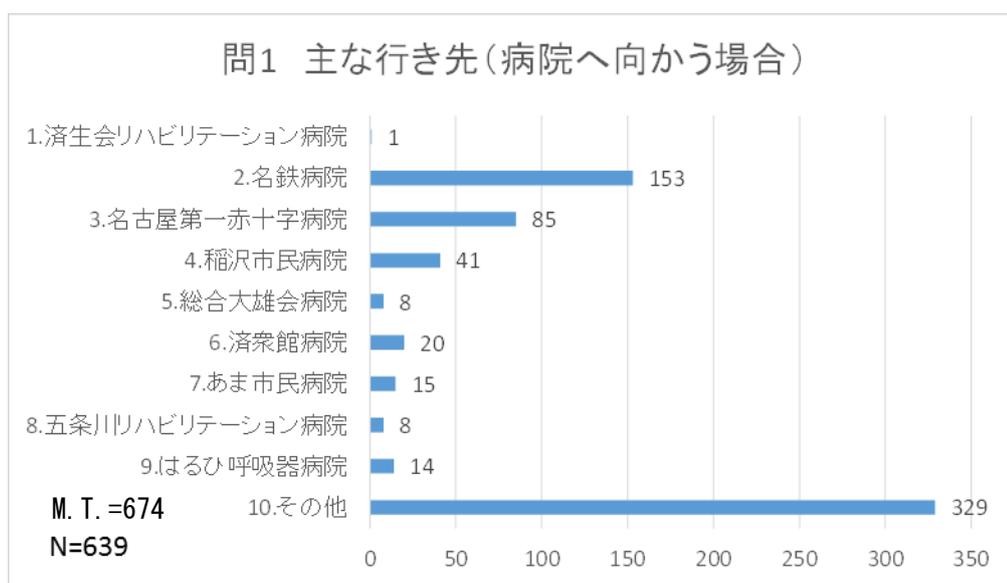
※その他（多い行き先）

JR 稲沢駅	12
名鉄上小田井駅	7

② 病院

多数の医院に回答が分かれている。総合病院では名鉄病院が多く、名古屋第一赤十字病院（中村日赤）が名鉄病院の約半分となっている。

- ・西枇杷島地域：名鉄病院（48人<26%>）、中村日赤（24人<13%>）
- ・新川地域：名鉄病院（42人<19%>）、中村日赤（24人<11%>）
- ・清洲地域：名鉄病院（44人<17%>）、中村日赤（25人<10%>）、大雄会（21人<8%>）
- ・春日地域：稲沢市民病院（12人<14%>）、済衆館病院（12人<14%>）



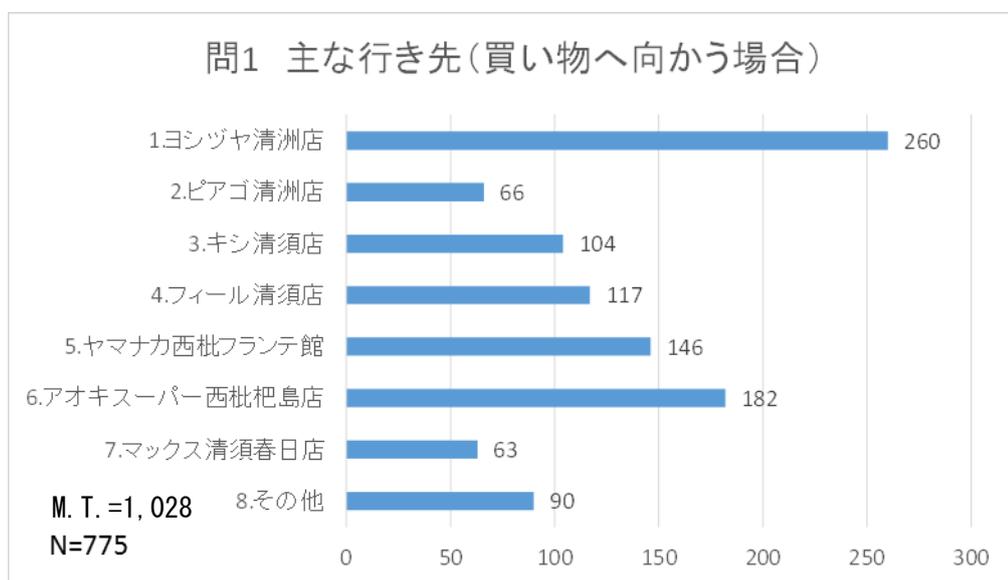
※その他（多い行き先）

きよすクリニック	11
尾関医院	11
はなさきクリニック	10
ゆたかクリニック	10
丹羽医院	10

③ 買物

全体で、北部はヨシヅヤ清洲店、南部はアオキスーパー西枇杷島店が多いが、各地域のスーパーに行く傾向も強い。

- ・西枇杷島地域：ヤマナカ西枇フランテ館（93人<51%>）アオキスーパー西枇杷島店（78人<42%>）、ヨシヅヤ清洲店（16人<9%>）
- ・新川地域：アオキスーパー西枇杷島店（74人<34%>）、キシ清須店（60人<27%>）、ヨシヅヤ清洲店（55人<25%>）
- ・清洲地域：ヨシヅヤ清洲店（142人<56%>）、フィール清須店（85人<33%>）
- ・春日地域：マックスバリュ清須春日（33人<38%>）、ヨシヅヤ清洲店（26人<30%>）



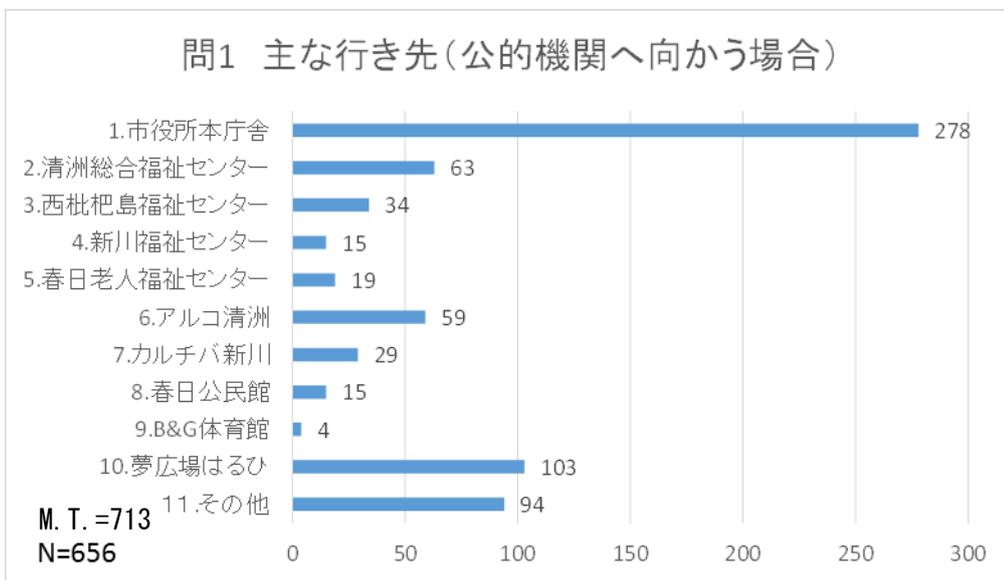
※その他（多い行き先）

モゾワンダーシティ	14
カネスエ西春店	10

④ 公的機関

全体で、市役所本庁舎が圧倒的に多い。

- ・西枇杷島地域：市役所本庁舎（60人<33%>）、西枇杷島庁舎・西枇杷島会館（19人<10%>）、夢広場はるひ（13人<7%>）
- ・新川地域：市役所本庁舎（111人<51%>）、夢広場はるひ（18人<8%>）
- ・清洲地域：市役所本庁舎（71人<28%>）、夢広場はるひ（44人<17%>）、清洲総合福祉センター（41人<16%>）、アルコ清洲（31人<12%>）
- ・春日地域：夢広場はるひ（23人<26%>）、春日老人福祉センター（14人<16%>）、市役所本庁舎（10人<11%>）

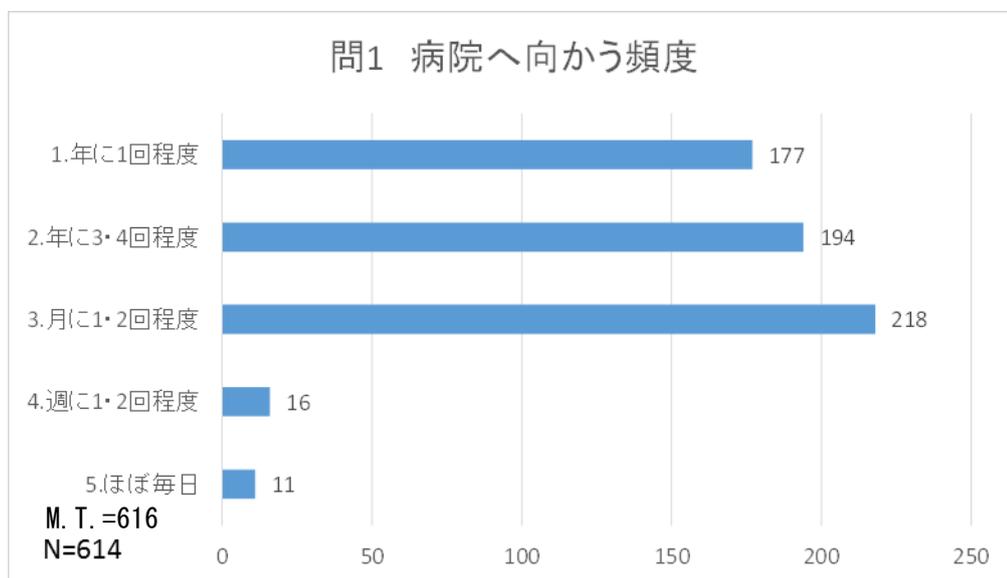
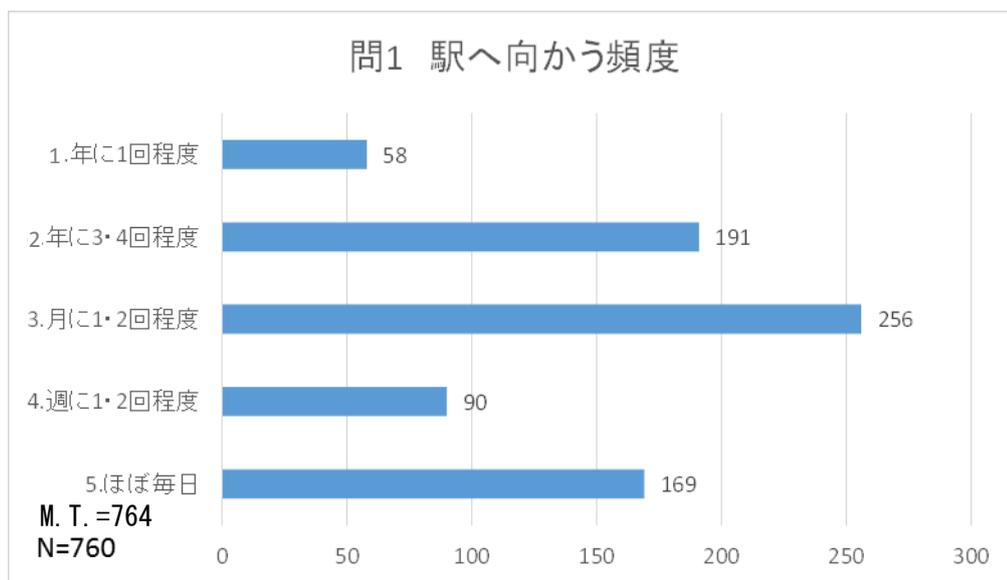


※その他（多い行き先）

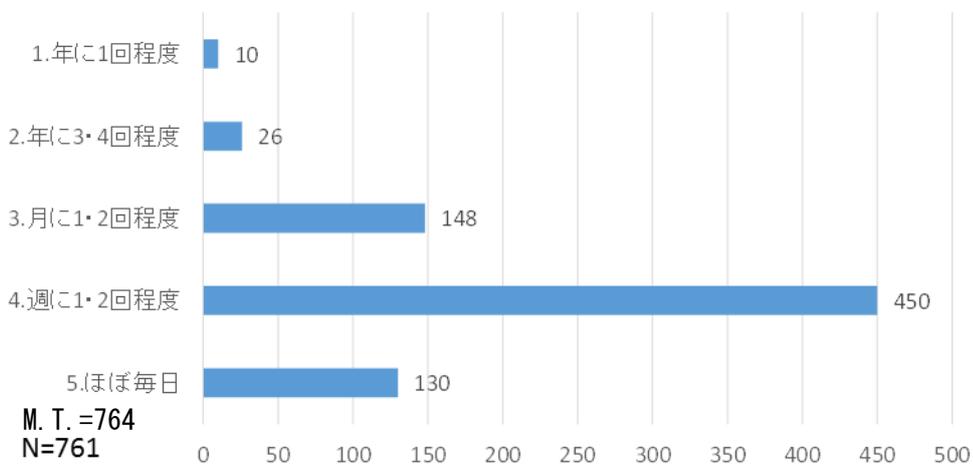
清洲庁舎	28
西枇杷島庁舎	19

(2) 日常の行先へ行く頻度

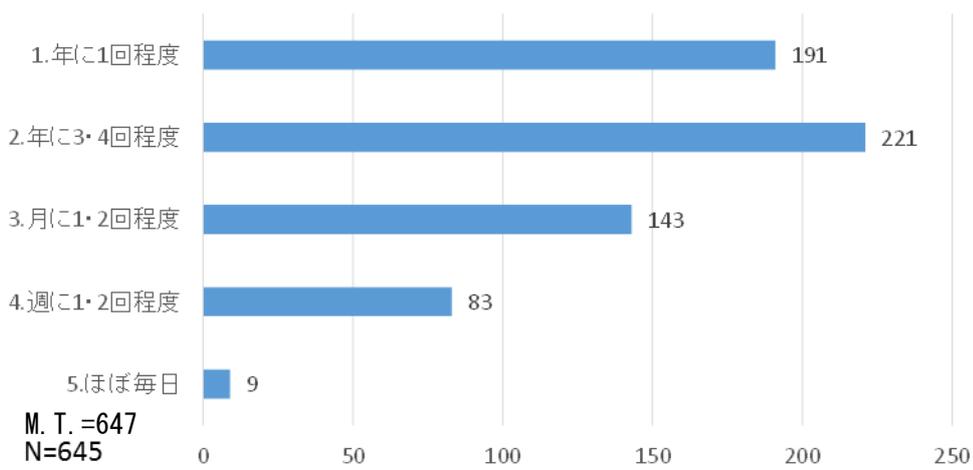
- ・ 駅は、「年数回～月数回」の人が多く、「ほぼ毎日」の人も多い。
- ・ 買物は、「週1・2回」の人が多く。
- ・ 病院、公的機関は、「年数回～月数回」の人がほとんどとなっている。



問1 買い物へ向かう頻度

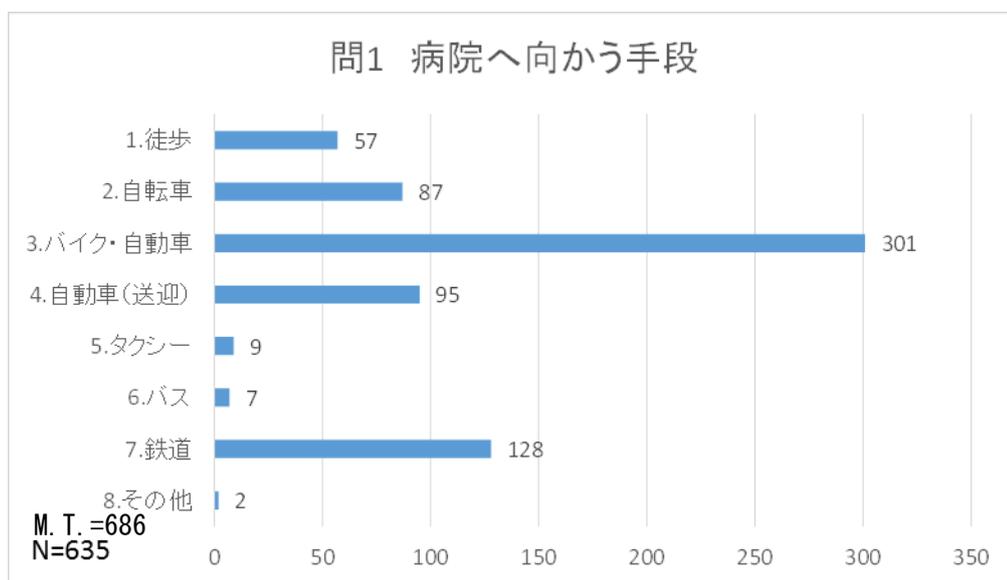
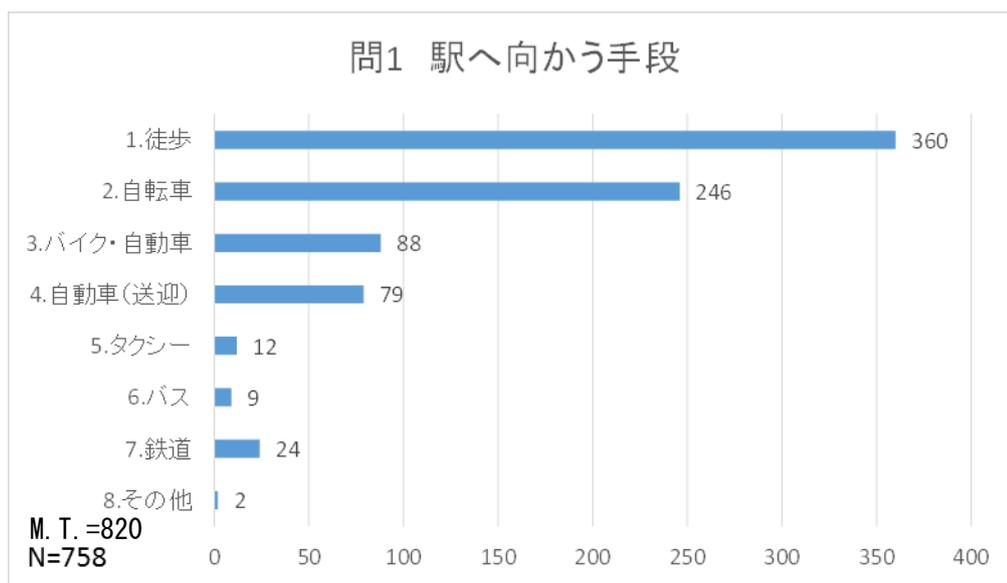


問1 公的機関へ向かう頻度

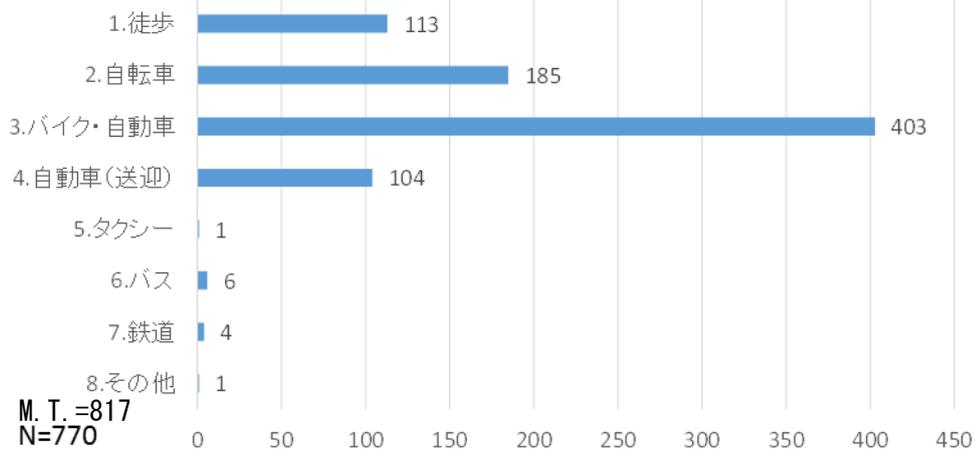


(3) 日常の行先への手段

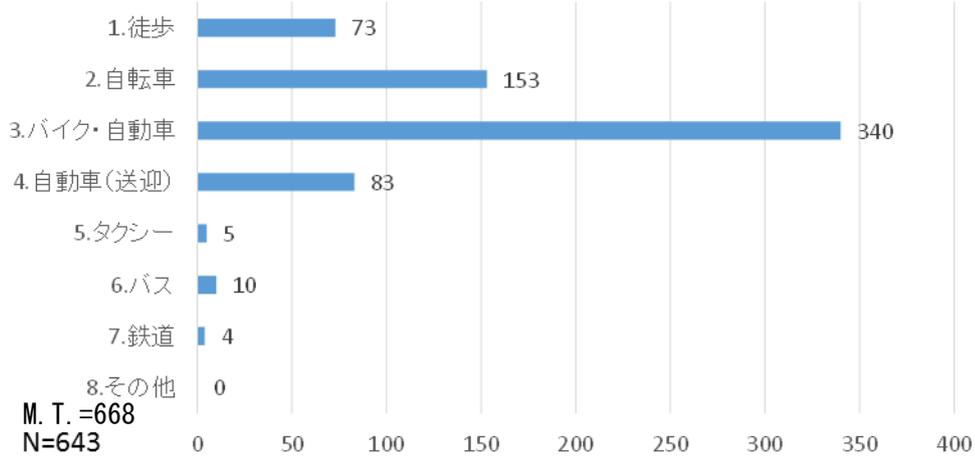
- ・ 駅は、「徒歩」、「自転車」が多い。
- ・ 病院、買物、公的機関は、「バイク・自動車」が多い。
- ・ 「鉄道」利用は、病院へ向かう手段のみ目立って多い。
- ・ 全体的に、「バス」はほとんどない。



問1 買い物へ向かう手段



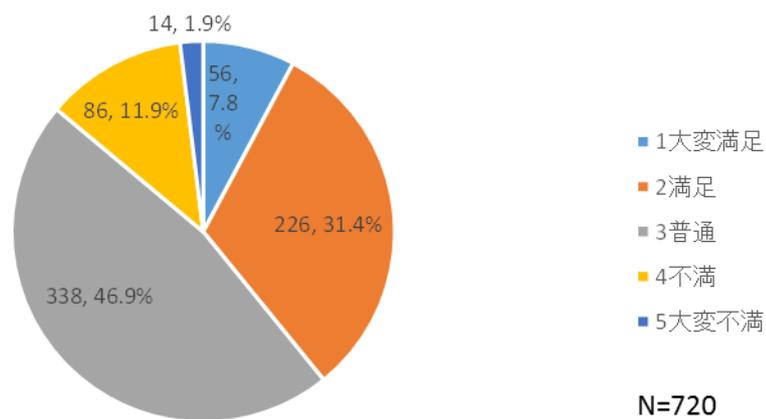
問1 公的機関へ向かう手段



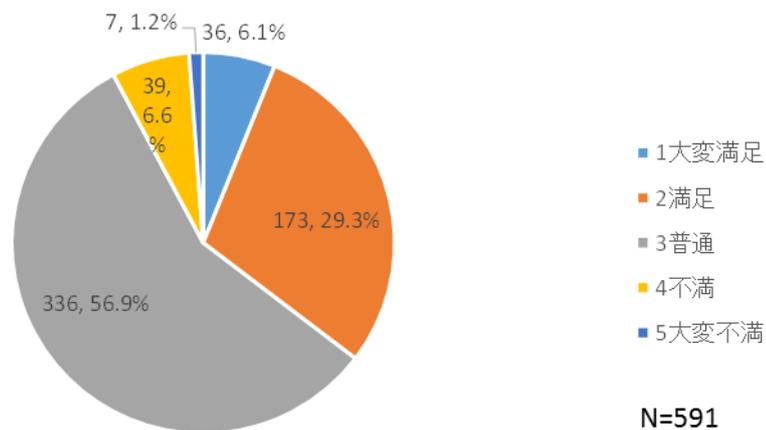
(4) 日常の行先への移動の満足度

- ・いずれも「普通」が5割程度、「満足」が3割程度、「大変満足」と「不満」が1割程度となっている。

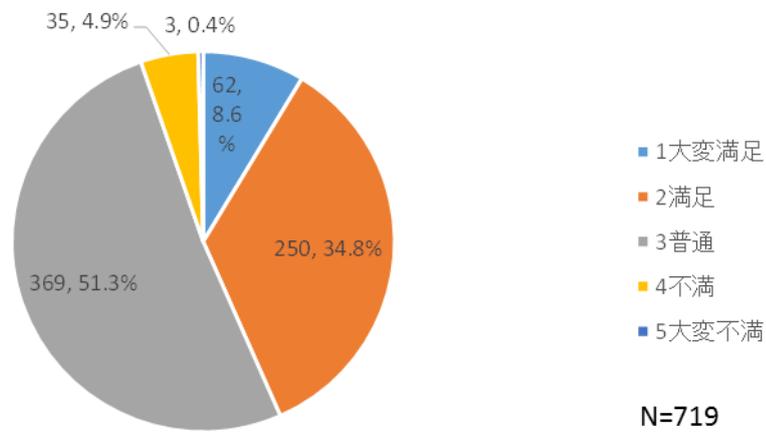
問1 移動の満足度(駅へ向かう場合)



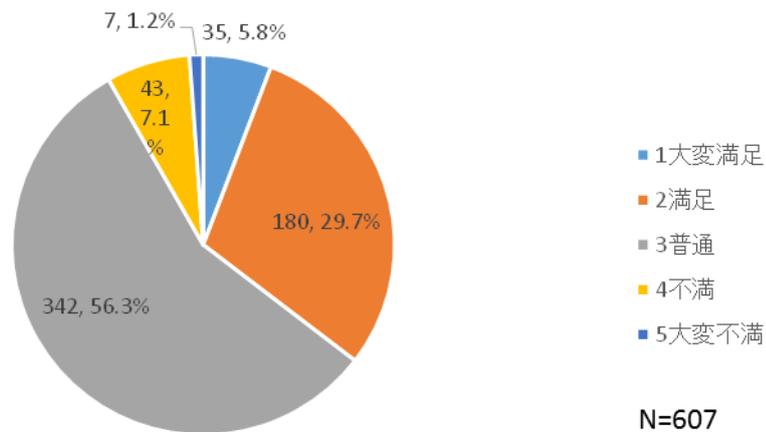
問1 移動の満足度(病院へ向かう場合)



問1 移動の満足度(買い物へ向かう場合)

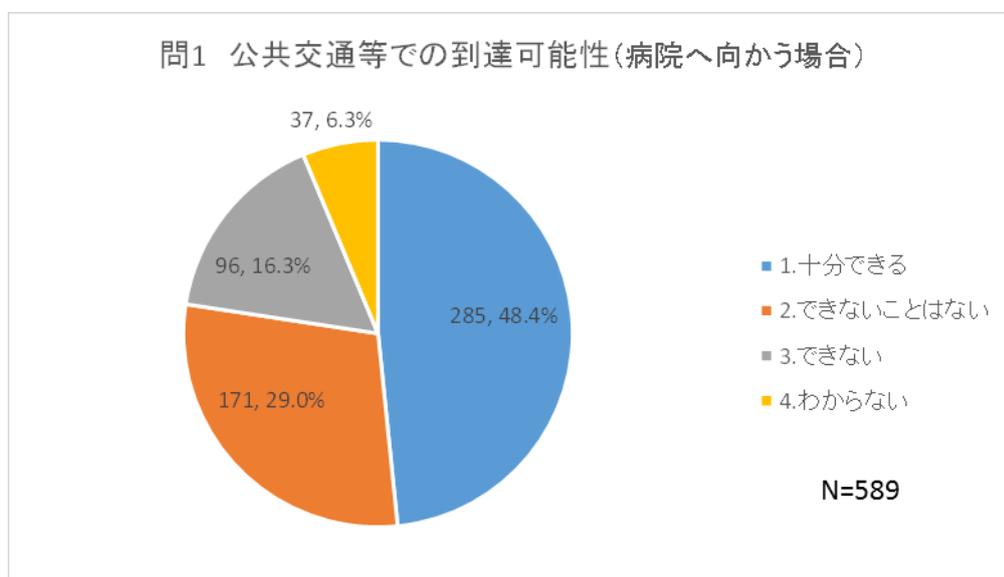
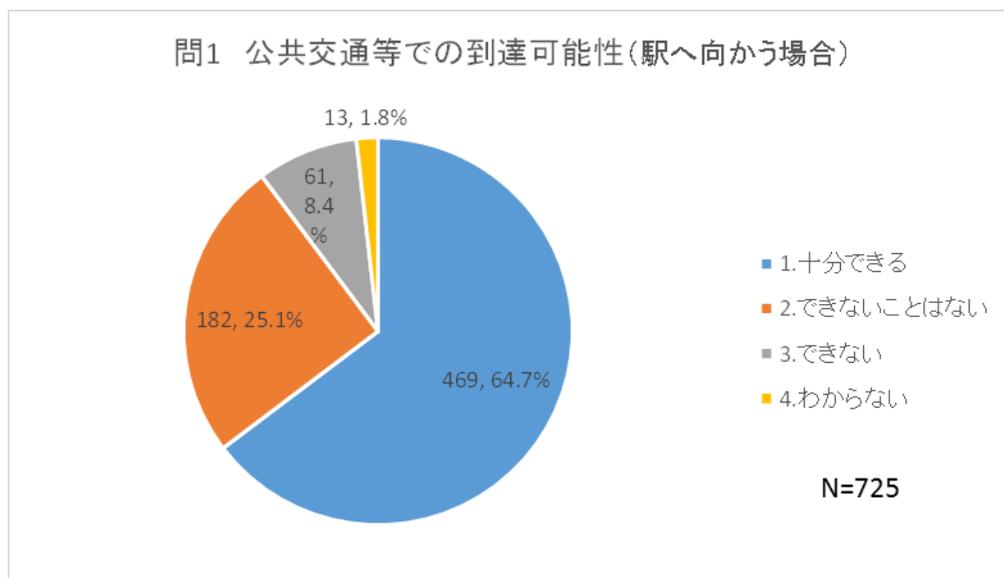


問1 移動の満足度(公共施設へ向かう場合)

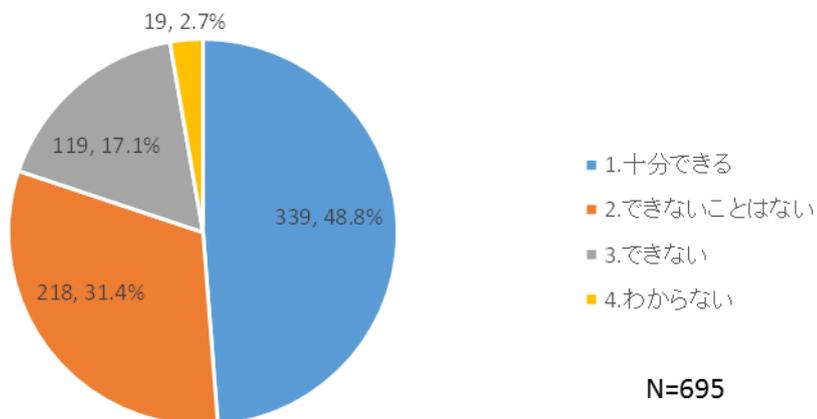


(5) 日常の行先への公共交通・徒歩での到達可能性

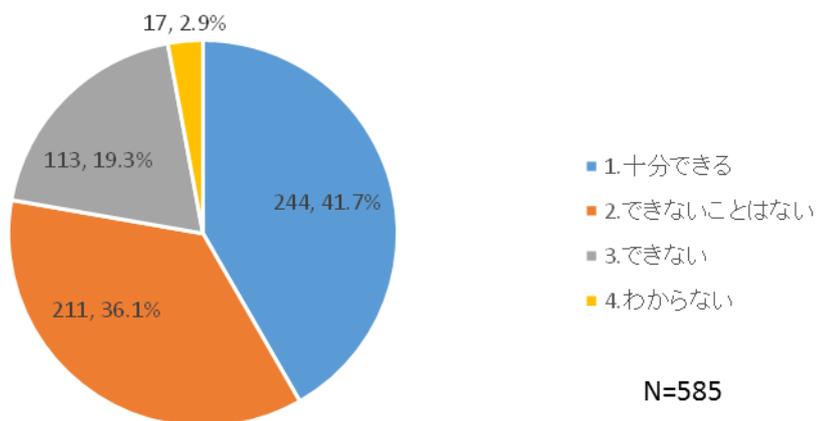
- ・ 駅がもっとも行きやすく、公的機関が行きづらい。
- ・ 行くことが「できない」という回答が1～2割存在する。



問1 公共交通等での到達可能性(買い物へ向かう場合)

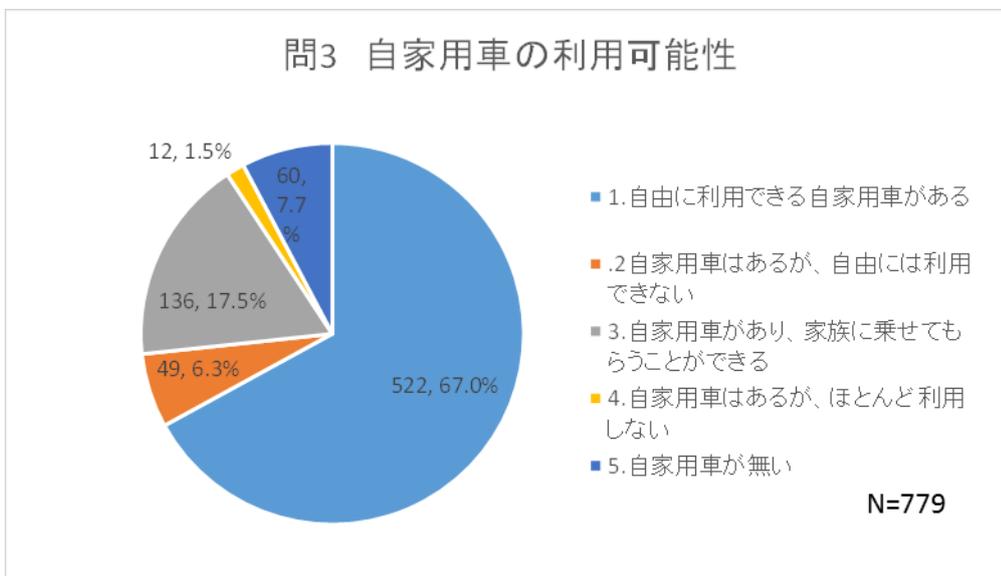
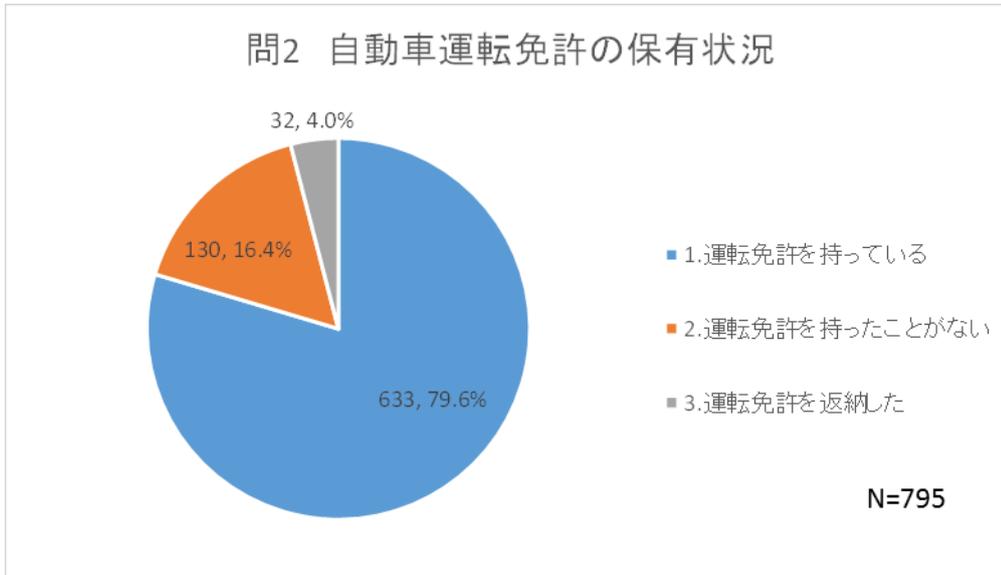


問1 公共交通等での到達可能性(公的機関へ向かう場合)



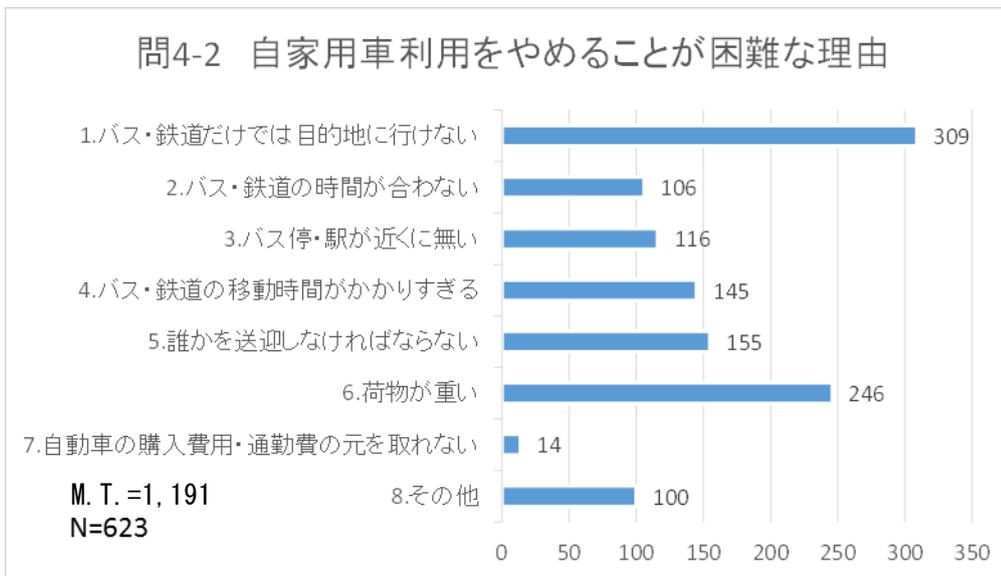
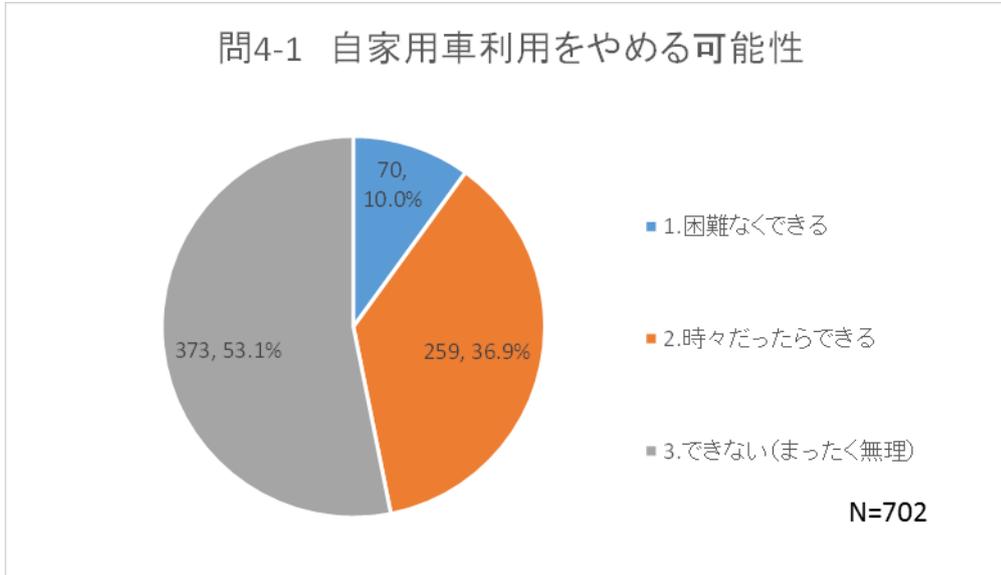
(6) 自動車の運転免許証保有・利用可能性

- ・ 8割が「運転免許証を持っている」と回答。
- ・ 「自家用車を自由に利用できる」人は7割近い。「自家用車に乗せてもらえる」人は2割弱。「自家用車がない」人は1割弱となっている。



(7) 自家用車をやめる可能性

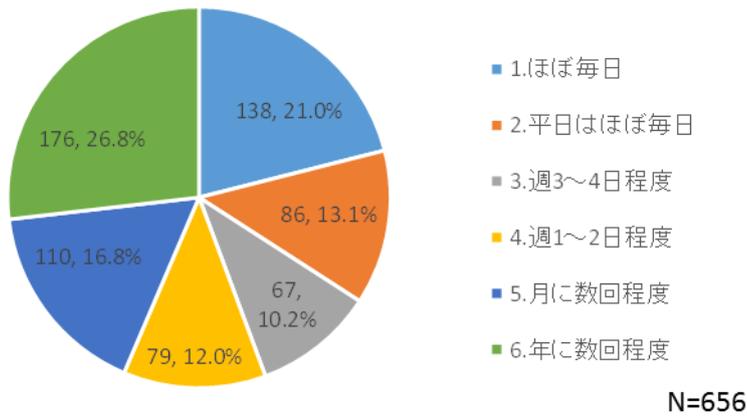
- ・「困難なくできる」人は1割、「時々できる」人は4割弱となっている。
- ・困難の理由として、「目的地まで行けない」、「荷物が重い」が多い。



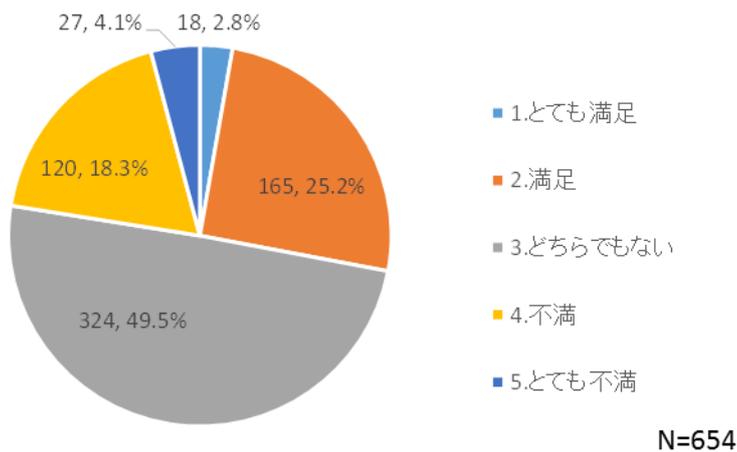
(8) 自転車利用環境

- 自転車は、「ほぼ毎日」利用する人から「年に数回程度」のほとんど利用しない人まで回答に偏りはみられない。
- 自転車利用環境の満足度は、満足でも不満でもない「どちらでもない」人が約5割。残りは「満足」がやや多い。

問5-1 自転車の利用頻度

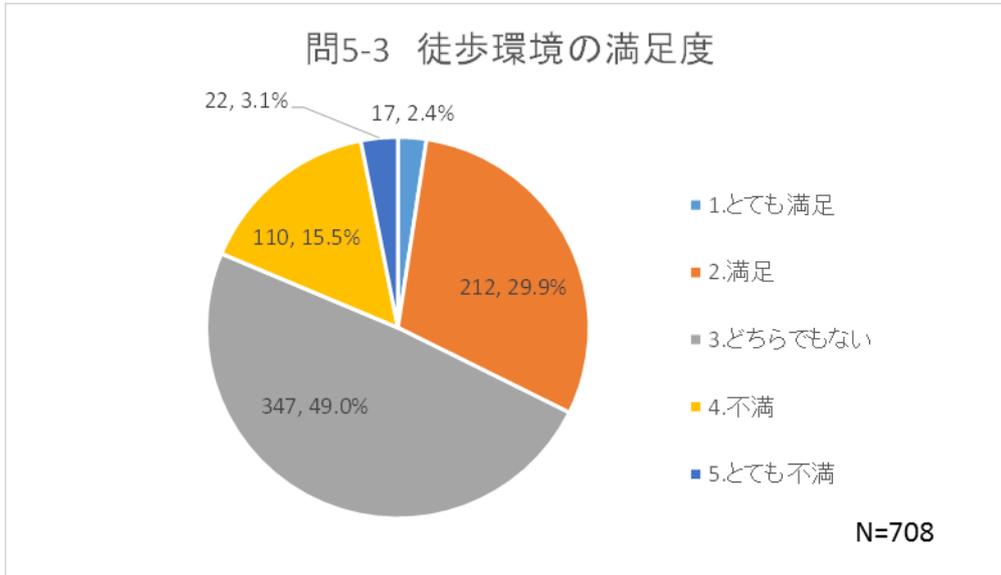


問5-2 自転車利用環境の満足度



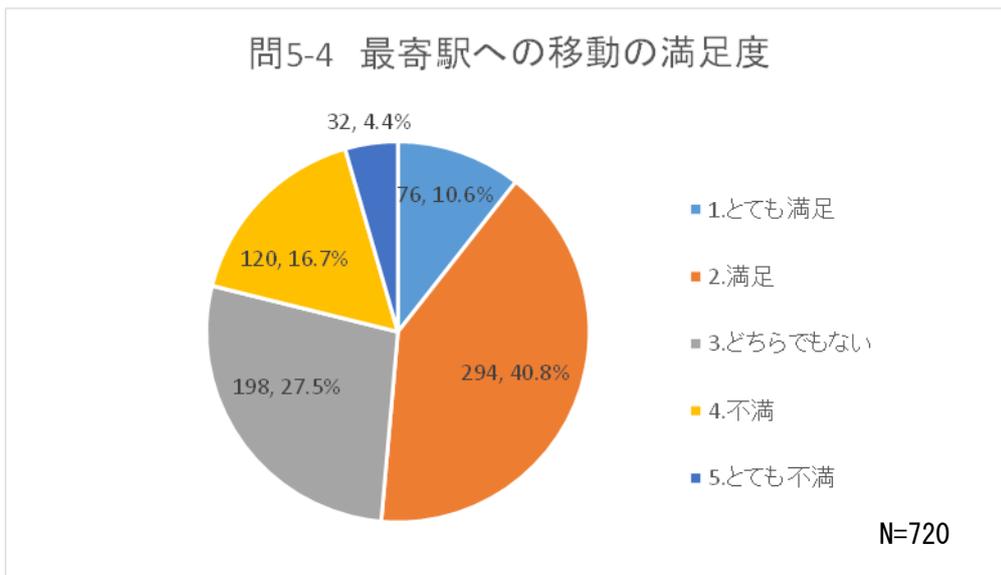
(9) 徒歩環境

- ・徒歩環境の満足度は、満足でも不満でもない「どちらでもない」人が約5割。残りは「満足」が多い。



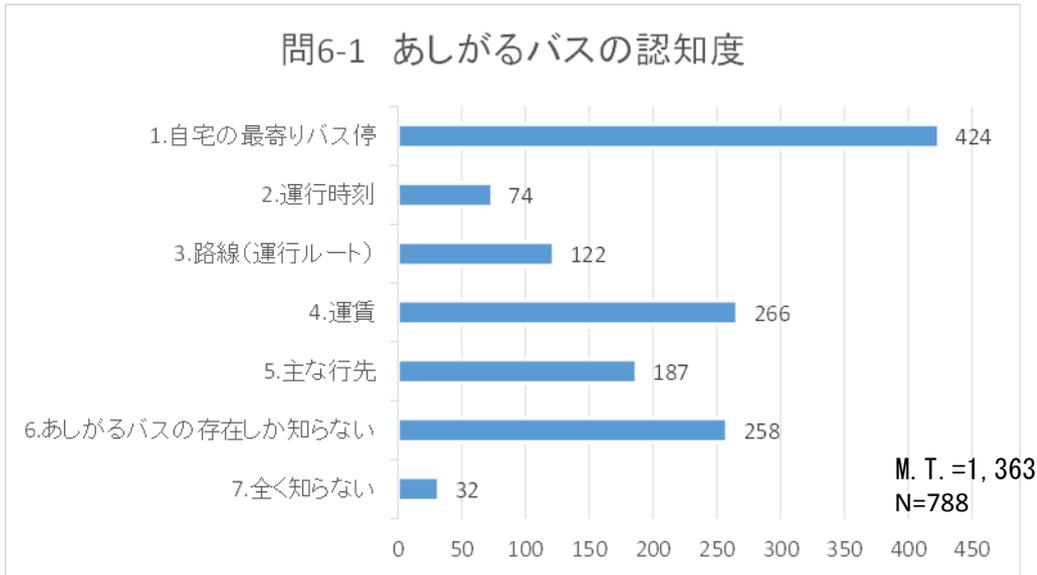
(10) 最寄駅への移動の満足度

- ・自転車や徒歩での最寄駅への移動は、「とても満足」と「満足」が合わせて5割強となっている。



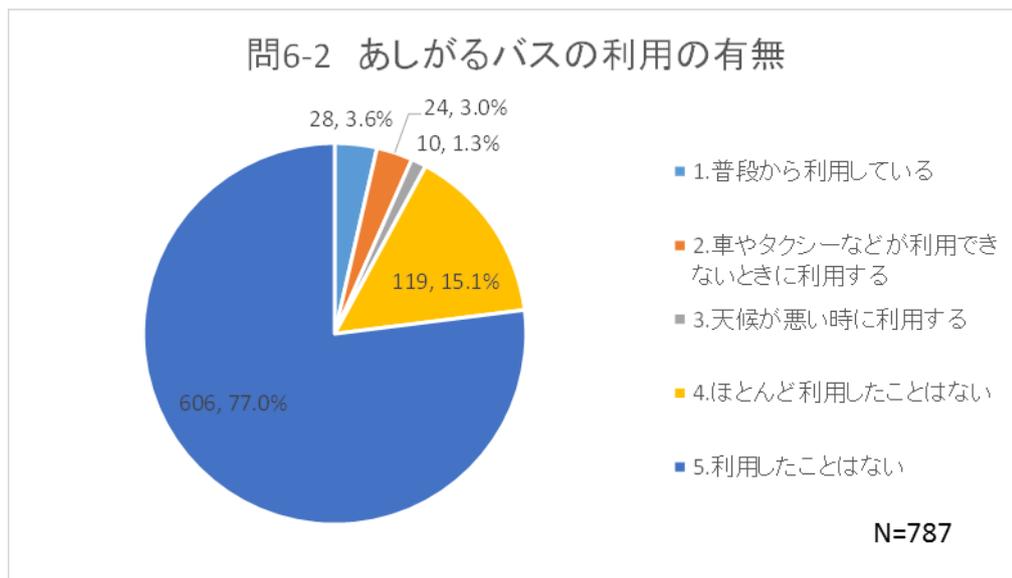
(11) あしがるバスの認知度

- ・「自宅の最寄りバス停」が5割強、「運賃」が3割強、「主な行先」が2割強となっている。
- ・「存在しか知らない」人は3割強あり、「全く知らない」人も僅かだがいる。



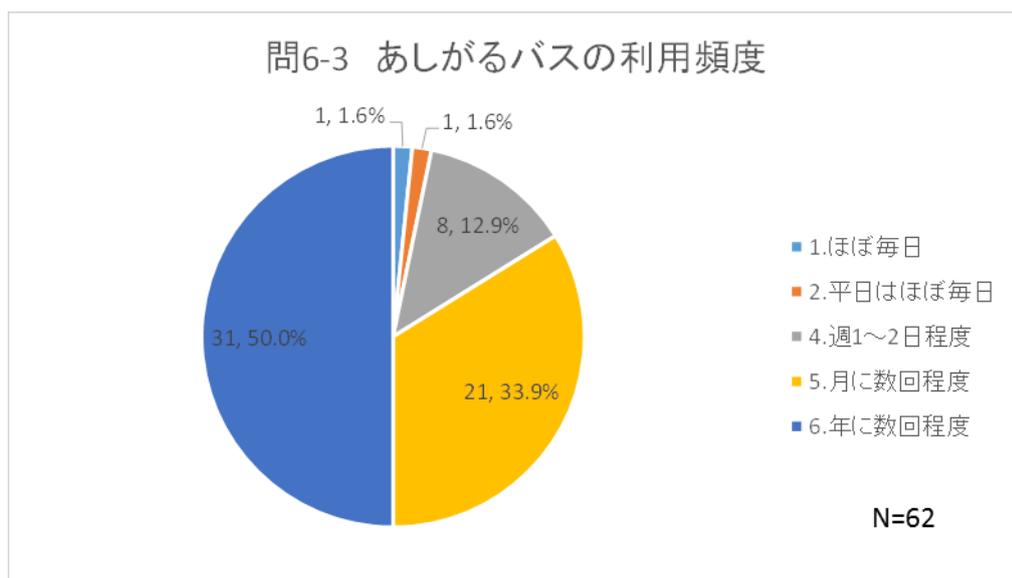
(12) あしがるバス利用の有無

- ・「利用したことはない」、「ほとんど利用したことはない」人が合わせて9割となっている。
- ・「普段から利用している」人は、1割にも満たない。



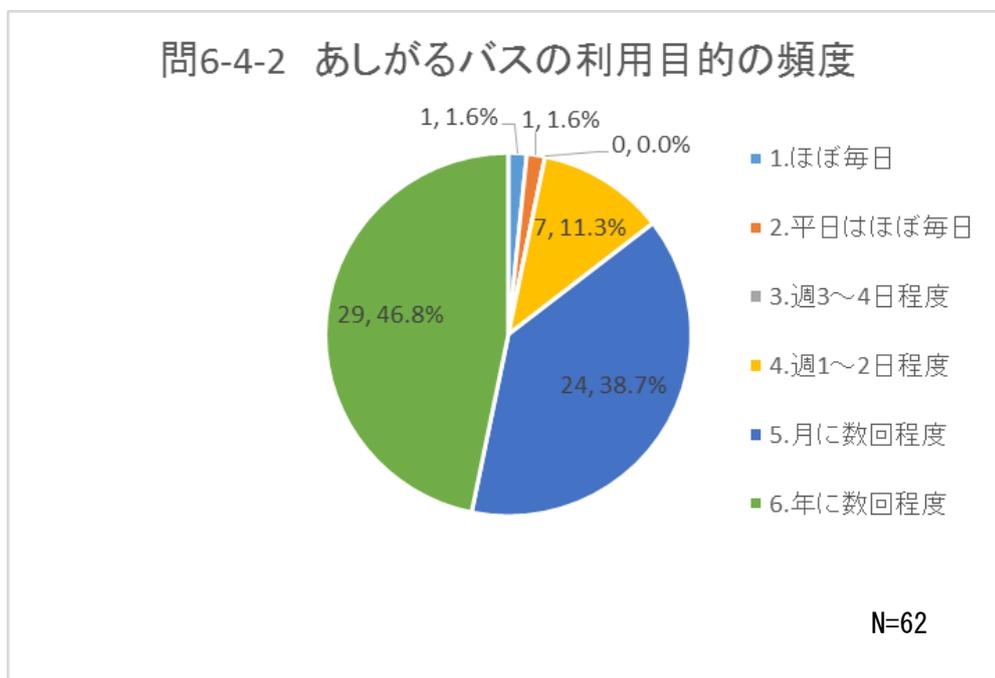
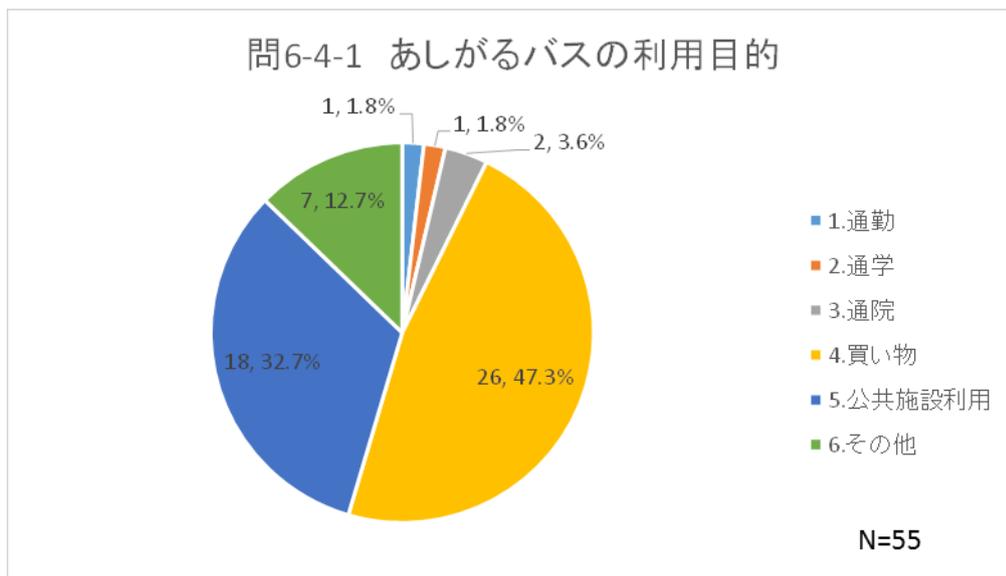
(13) あしがるバス利用頻度

- ・「年に数回程度」が半数で、「月に数回程度」が3割強となっている。



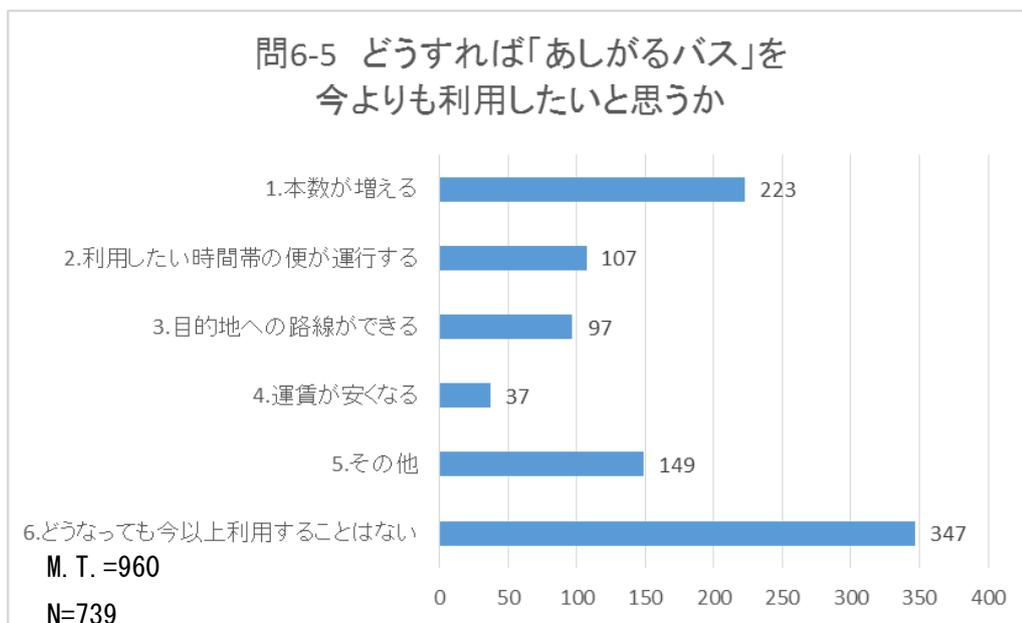
(14) あしがるバス利用の目的

- ・「買い物」が5割弱と多く、「公共施設利用」が3割強で続く。
- ・「通院」がほとんどないのは、清須市の特徴といえる。
- ・その利用目的であしがるバスを利用する頻度は、「月に数回程度」が4割弱と多い。



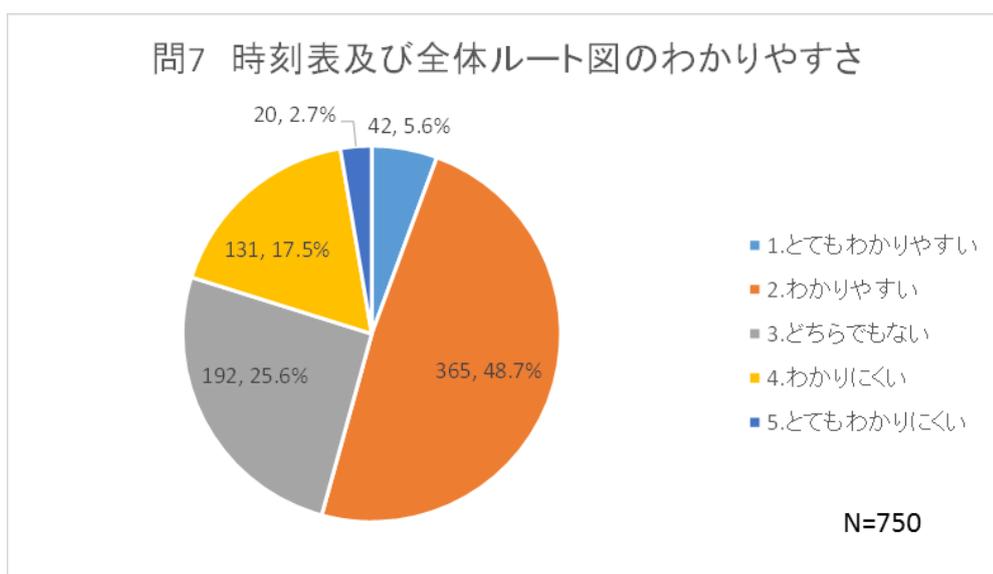
(15) どうすれば「あしがるバス」を今よりも利用したいと思うか

- ・「本数が増える」が3割弱で一番多く、「利用したい時間帯の便が運行する」及び「目的地への路線ができる」が1割強で続く。
- ・「その他」の主な意見として、「車が乗れなくなったら」が圧倒的に多く、その他「バス停が近くなったら」、「乗り継ぎがしやすくなったら」などが多かった。



(16) 時刻表・全体ルート図（市内全戸配布、アンケート調査時にも添付）のわかりやすさ

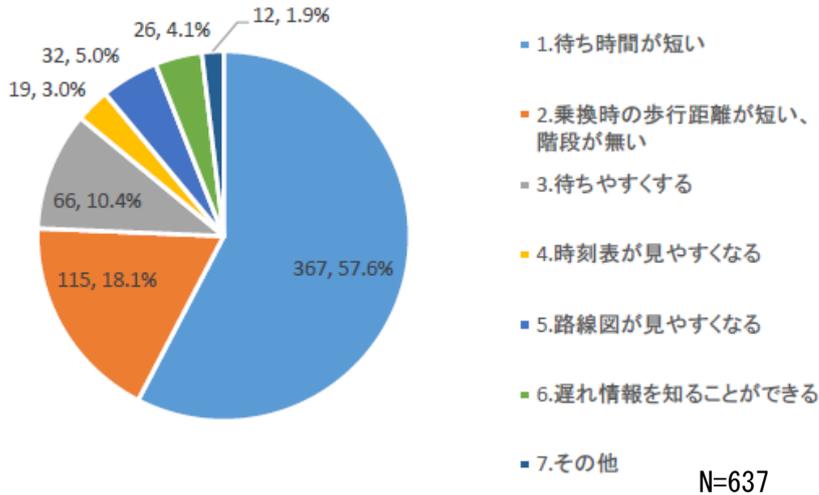
- ・「とてもわかりやすい」、「わかりやすい」が5割強だが、その反面「とてもわかりにくい」、「わかりにくい」との意見も2割ほどある。



(17) 鉄道・バス乗り継ぎに必要なこと

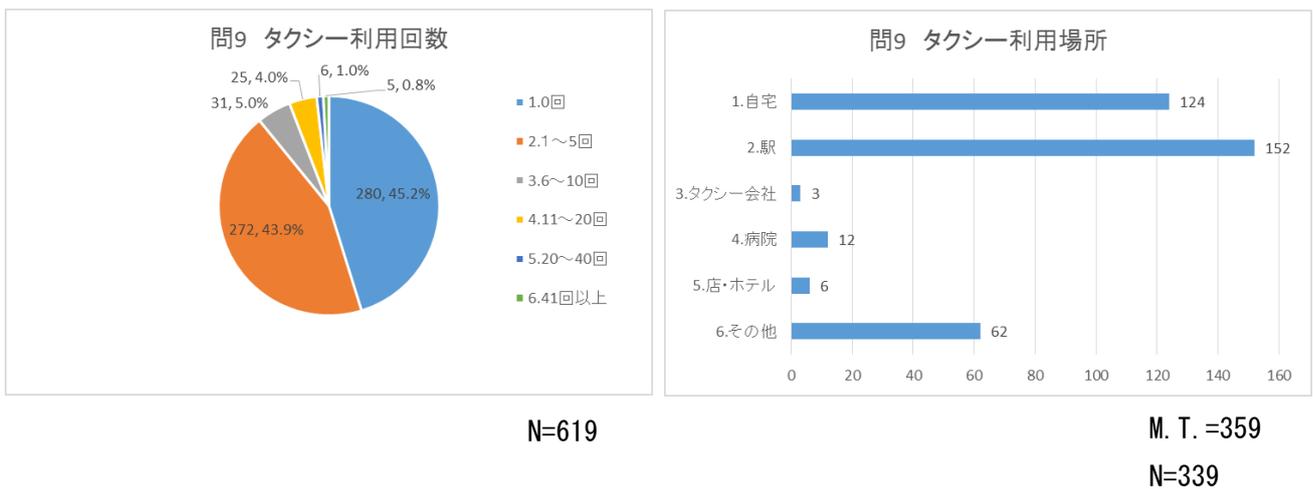
- ・「待ち時間が短い」を挙げた人が6割弱で圧倒的に多い。「乗換え時の歩行距離が短い、階段がない」は類似の回答だが、2割弱ある。

問8 バス・鉄道乗継に必要なこと



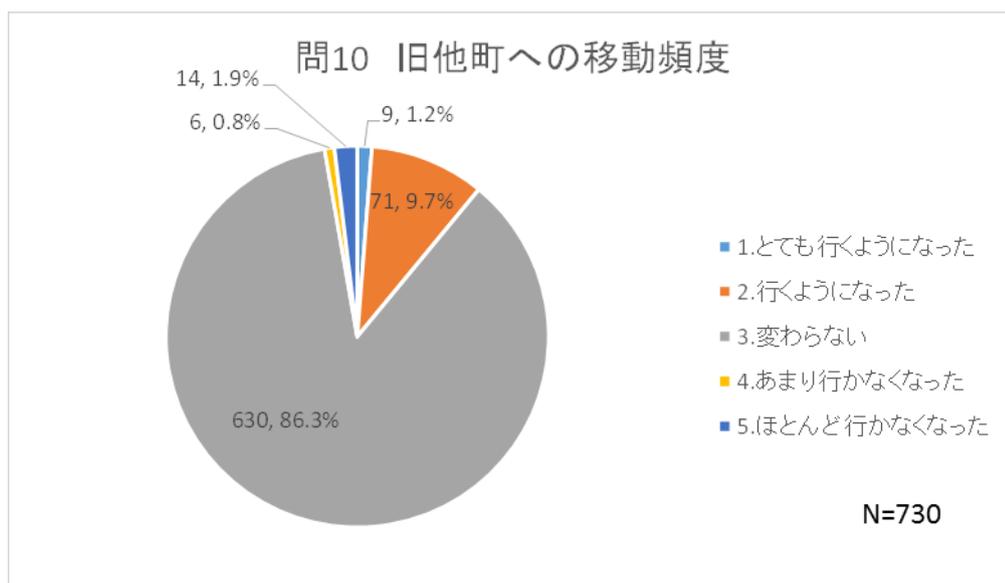
(18) タクシー年間利用

- ・タクシーを、全く使っていない方が4割強、「1～5回」も4割強となっている。
- ・乗車場所は、「駅」が4割強、「自宅」が4割弱と大半を占めている。



(19) 合併後の旧他町地域への移動の増加

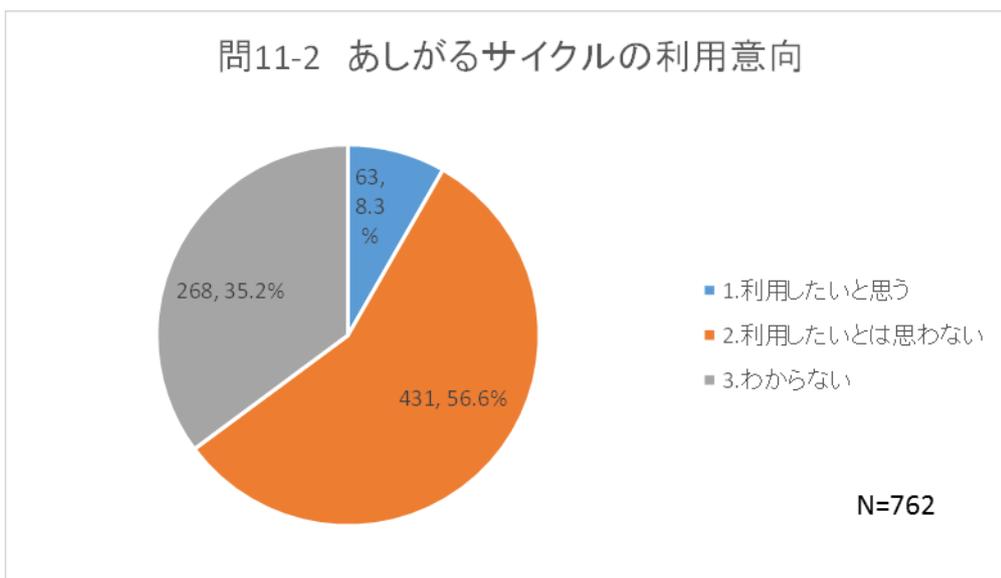
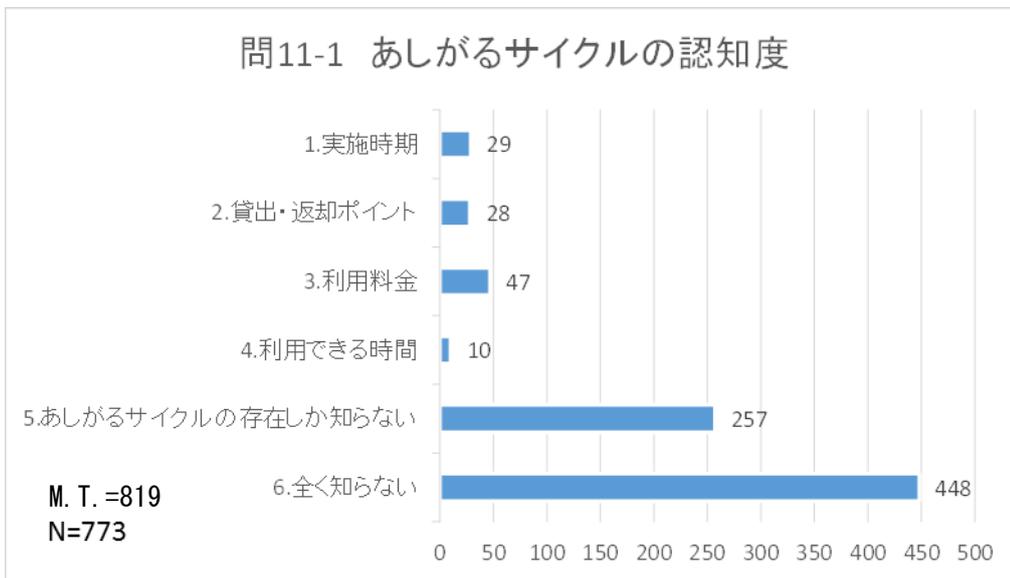
- ・合併後に、移動頻度が増えた人は全体で約1割。
- ・地域別の割合では、西枇杷島地域（19人）10%、新川地域（18人）8%、清洲地域（25人）10%、春日地域（14人）16%で、春日地域が他地域に比べてやや高くなっている。



(20) あしがるサイクル

- ・市民への認知度は低く、「全く知らない」が5割を越え、「存在しか知らない」も3割強となっている。
- ・利用意向も、「利用したいと思う」が1割弱と少ない。

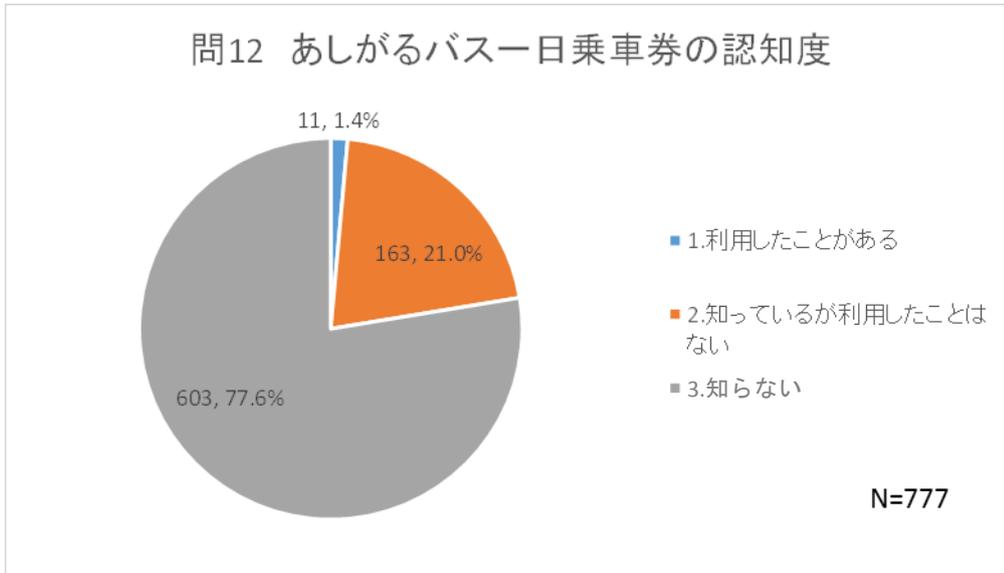
→ あしがるサイクルは、市民向け事業ではなく、事業規模も小さいので認知度が低いのは当然とも言えるが、市民に知られていないと市外にも知られるきっかけが少なくなるため、何らかの対応が必要といえる。



(21) あしがるバス一日乗車券の認知度

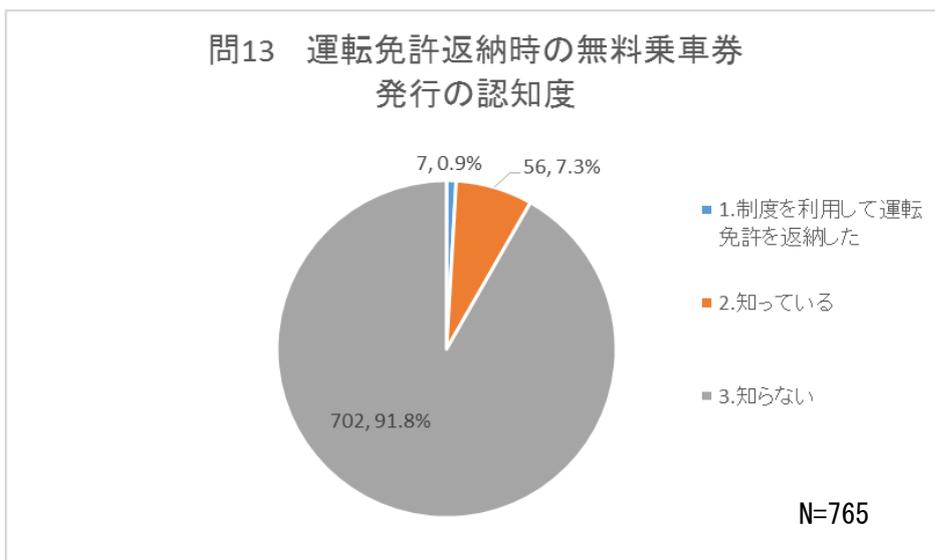
- ・「知らない」が8割弱となっている。

→ まずは、一日乗車券の認知度を上げることが、あしがるバスの利用者を増やせるきっかけになるのではないかと考える。



(22) 運転免許証返納時の無料乗車券発行の認知度

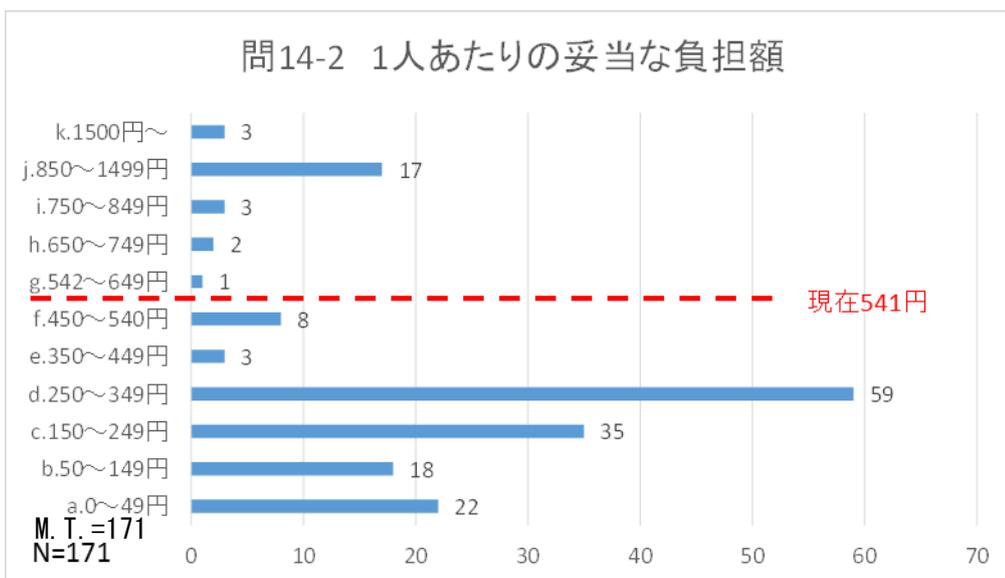
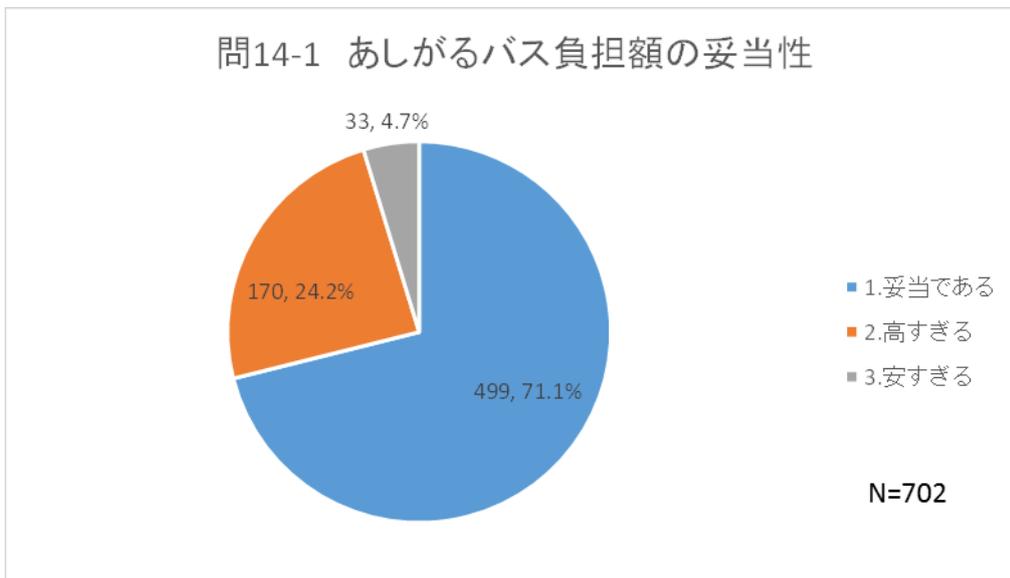
- ・回答者全体で、制度を認知している人は1割弱と少ない。
- ・65歳以上の運転免許証保有者（180人）で、この制度を「知っている（返納したも含む）」人（16人）は1割に満たない（9%）。



(23) 現在のあしがるバスへの市負担の妥当性への意識

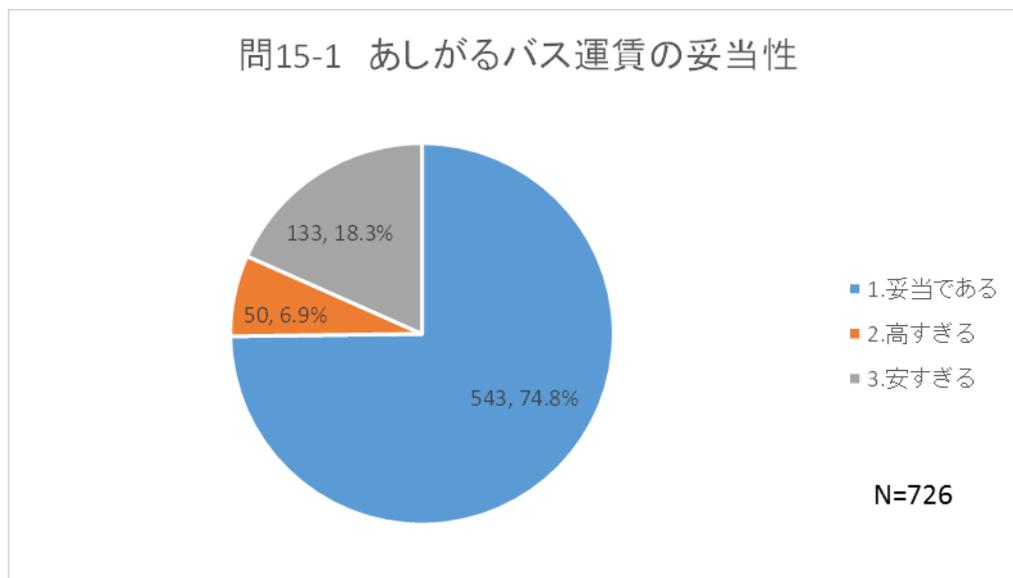
- ・「妥当である」と考える人が7割であるが、2割強が「高すぎる」と考えている。
- ・「高すぎる」とした人について、妥当な額は現状の半額程度と答えた人が多い。
- ・運転免許証非保有者（162人）のうち、「高すぎる」と答えた人（25人）は1割強で、その割合は全体より少ない。

→ 「妥当である」と考える人が大半で、残りの多くが「高すぎる」と答えるのは、現状で利用が少ないあしがるバスでは典型的な傾向といえる。



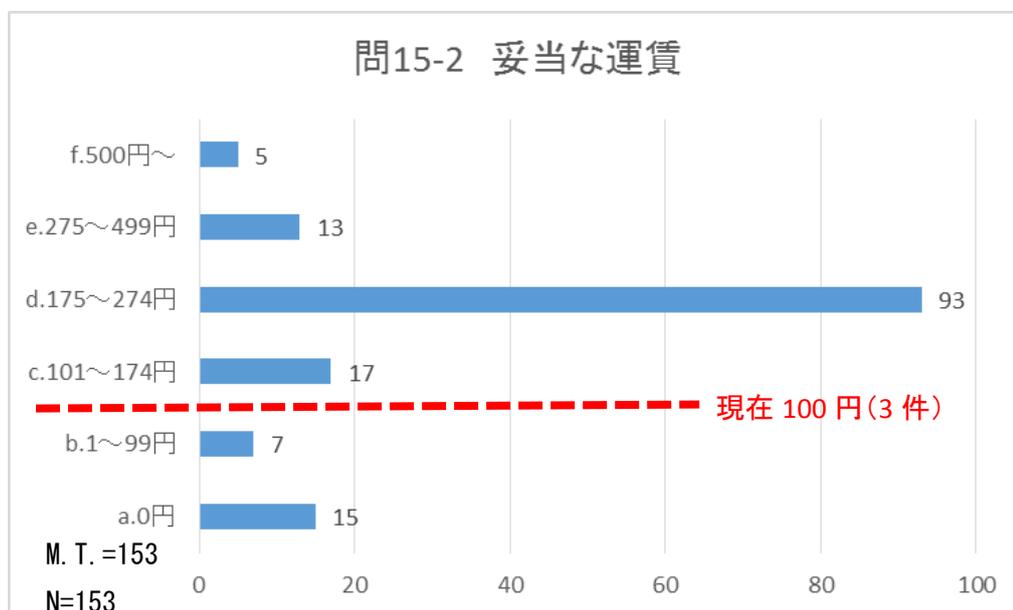
(24) 運賃水準の妥当性

- ・「妥当である」の割合は、前問の「(23) 現在のあしがるバスへの市負担の妥当性への意識」と同様となっている。



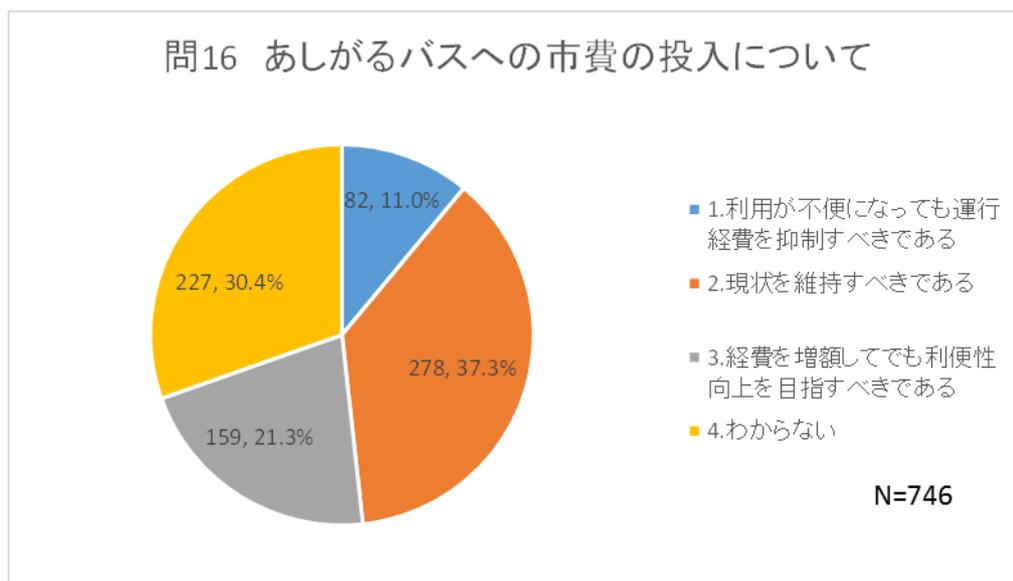
(25) 妥当な運賃

- ・現行運賃 100 円の倍額となる「175 円～274 円」が圧倒的に多い。



(26) 利便性向上と市費投入

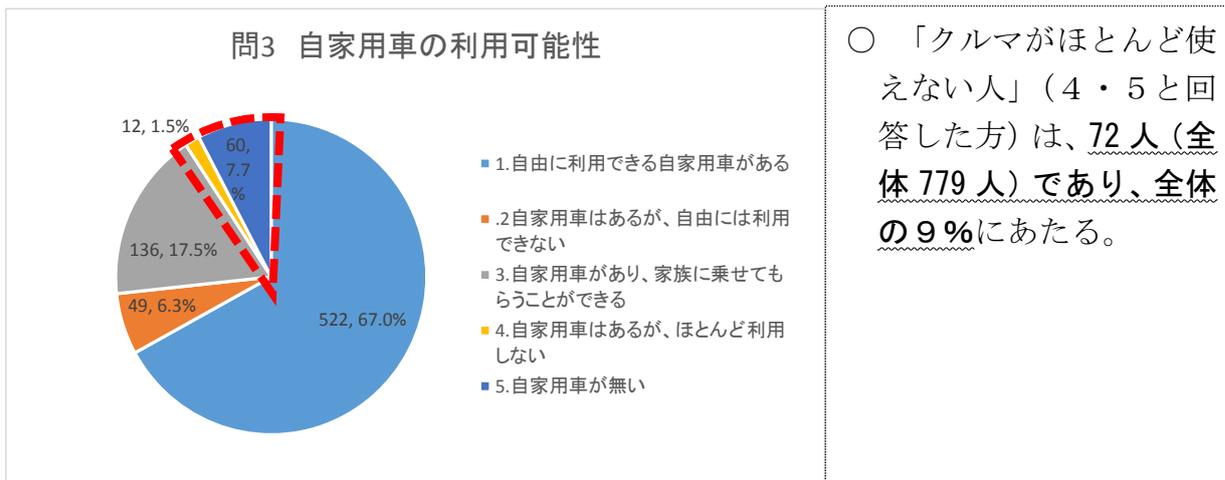
- 「現状維持」が4割弱と最も多いが、「わからない」と答えた人も3割いる。
- 「増額してでも利便性向上が必要」としたのは2割強で、「不便になっても経費抑制すべき」とした1割強より多い。
- 運転免許証非保有者（162人）のうち、「経費抑制すべき」と答えた人（14人）は1割弱（9％）で、割合は全体より少ない。



6 調査結果（あしがるバスの利用可能性が高い層の分析）

- 単純集計では、サンプルの多くが「クルマ（自家用車）が使える人」となっており、その意識の方に偏った結果が出てくることから、ここでは「クルマがほとんど使えない人」に注目して集計した結果のうち主なものを示す。

(1) 「クルマがほとんど使えない人」（72人）を対象に分析



① 問6-2 自宅の最寄りバス停から「あしがるバス」を利用しますか。

- ・普段から利用：14人
 - ・車やタクシーなどの利用ができないときに利用：3人
- 上記を合わせると 17人【24%】（全体は7%）

→ **クルマが使えない人は相対的にあしがるバスを利用している。**

② 問6-1 「あしがるバス」についてどの程度知っていますか。

- ・あしがるバスの存在しか知らない：16人
 - ・全く知らない（アンケートで知った）：3人
- 上記を合わせると 19人【26%】（全体は37%）

→ **クルマが使えないの方が相対的にあしがるバスを認知している。**

→ **なお、知っているのは、自宅の最寄りバス停（44人）、運賃（37人）が多く、運行時刻（19人）、路線・運行ルート（20人）は、あまり知られていない（回答割合は全体と同じ傾向）。**

→ **クルマが使えない人の4分の1程度しかあしがるバスを利用しておらず、4分の1程度はあしがるバスの認知もしていない状況。**

→ **クルマが使えない人に対する訴求が不足しているので、分かりやすく説明する必要がある。**

③ **問1** 普段の外出について

ア 移動に対する不満について

- ・ 駅：8人、病院：6人、買い物：10人、公的機関：6人

→ 全体に比べて買い物への不満が強い。
(全体：5%、クルマを使えない人：14%)

イ 行っている病院

- ・ 名鉄病院：18人、名古屋第一赤十字病院（中村日赤）：2人

→ 全体では、中村日赤（85人）は、名鉄病院（153人）の半分強であり、これはクルマを使えない人（公共交通が不便な人）は、中村日赤には行っていないことを示す。

ウ 行っている買い物先

- ・ ヨシヅヤ清洲店：18人【25%】（全体は34%）のうち、12人がクルマ送迎
- ・ その他の買い物先への交通手段は、徒歩・自転車が多い

→ クルマを使えない人はヨシヅヤに行きづらく、不満を持っている。
→ あしがるバスでヨシヅヤに行きやすくすると、もっと利用される可能性あり。

④ **問6-5** どうすれば「あしがるバス」を今よりも利用したいと思いますか。

- ・ 本数が増える：34人【47%】
- ・ 利用したい時間帯の便が運行する：15人【21%】
- ・ 目的地への路線ができる：13人【18%】
- ・ 運賃が安くなる：2人（50円）【3%】

→ 本数増の回答が多いのは、全体の傾向と変わらない。
(全体では、本数増：223人【29%】が圧倒的に望まれている)

⑤ **問6-6** 「あしがるバス」が利用しやすくなったら、どこにどのくらいの頻度で行きたいと思いますか。

- ・ 回答で多いのは「ヨシヅヤ清洲店」だが、それでも1割強ほど。その他の回答は偏りがない。
- ・ 春日地区はJR駅（清洲、稲沢）が多数であり、その他は傾向なし（市外が多い）

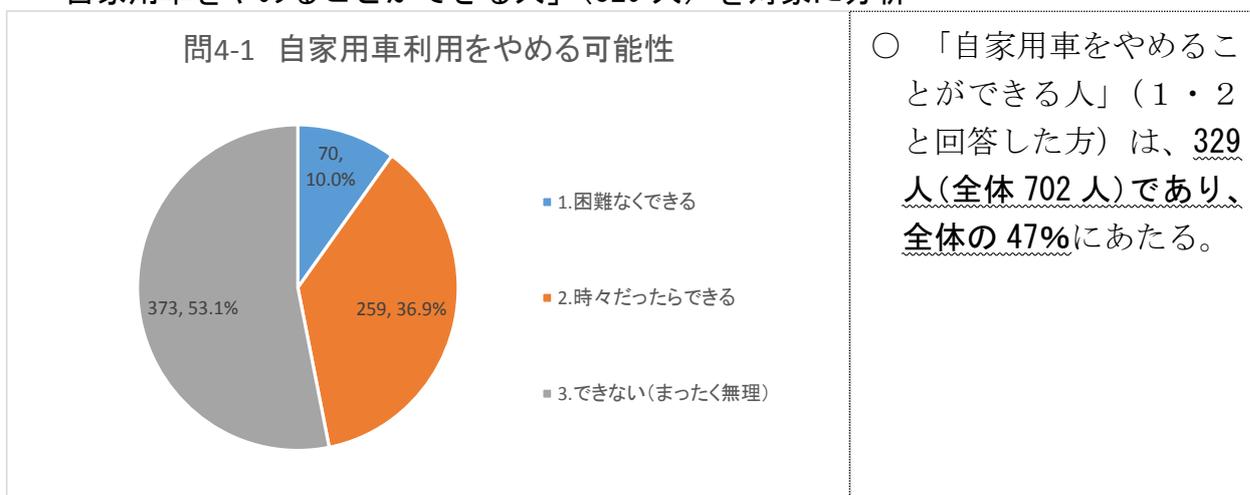
→ 「ヨシヅヤ清洲店」以外には駅へのアクセス（市外に行きやすい）が重要。

⑥ **問16** 「あしがるバス」を含めた公共交通の充実には、多くの市費の投入が必要となります。今後、市はどのように対応していけばよいと思いますか。

- ・たとえ不便になっても運行経費を抑制すべき：7人【10%】
- ・現状を維持すべき：27人【38%】
- ・経費を増額してでも利便性向上を目指すべき：13人【18%】
- ・わからない：25人【22%】

→ 回答の割合は、全体の傾向と変わらない。(抑制すべき：11%、現状維持：37%、増額すべき：21%、わからない：30%)

(2) 「自家用車をやめることができる人」(329人)を対象に分析



① 「自家用車をやめることができる」と答えた方(329人)のうち、あしがるバスを普段から利用している方(**問6-2**)で、あしがるバスを、「普段から利用」、「車やタクシーが使えないときに利用」、「天候が悪いときに利用」していると回答した方は15人【6%】

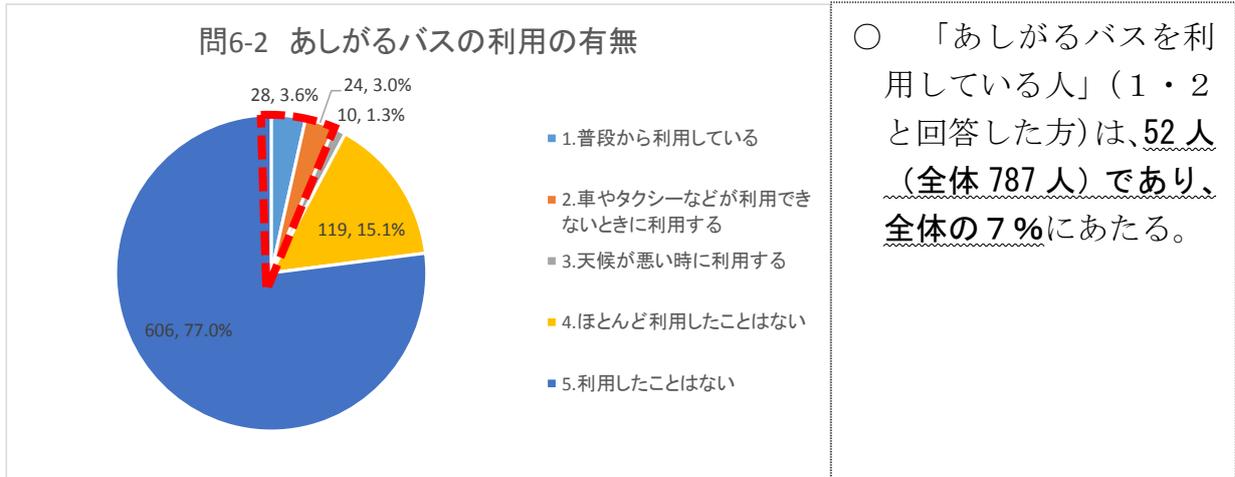
→ 「自家用車をやめることができる」と回答している人でも、あしがるバスにはほとんど乗ってもらえない。

② 「自家用車をやめることができる」と答えた方(329人)のうち、どうすればあしがるバスを利用したいと思いますか(**問6-5**)の回答)

- ・本数が増える：93人【28%】
- ・利用したい時間帯の便が運行する：39人【12%】
- ・目的地への路線ができる：42人【13%】
- ・運賃が安くなる：6人(0円もしくは50円)【2%】

→ 回答割合は、全体の傾向と変わらない。

(3) 「あしがるバスを利用している人」(52人)を対象に分析



① 「あしがるバスを利用している」と答えた方(52人)のうち、どうすればあしがるバスを利用したいと思いますか(問6-5)の回答

- ・本数が増える：35人【67%】
- ・利用したい時間帯の便が運行する：16人【31%】
- ・目的地への路線ができる：9人【17%】
- ・運賃が安くなる：1人(50円)【2%】

→ 回答割合は、全体の傾向と変わらない。

7 自由意見

※ 自由意見の文章内容・字句等は、原則、ご回答者の記入通りの表記としています。

<西枇杷島地域>

- ・ JR 枇杷島駅前の自転車置場の有料化の話がありますが、今の野ざらしのまま有料化するのには、おかしいと思います。有料化するのであれば、須ヶ口駅前のような建屋の中もしくはせめて屋根をつけるべきであると思います。
- ・ あしがるバスがあるといざという時に安心なので、できれば今後も継続して欲しいです。
- ・ 清須の交通機関（あしがるバス）を利用するより、名古屋市の交通機関を利用する方が便利。清須市の公的機関（市役所・図書館・公民館・春日ホテル・カルチバ・アルコ）は車利用が前提なので不便すぎる。行く気がおきない。4町合併で図書館が併合されたのは、行きづらく不便すぎる。清須市の規模では、公共交通機関を発展させるのはおこがましい、そんな予算はどこから？早く、できることなら名古屋市と合併して、市バス・地下鉄が開通することを期待します。
- ・ 小学校（中学校）までのバスの本数が増えると利用しやすい。<駐車場に限りがある場所の>
- ・ このアンケートは公共交通を少なくする目的で行われているのでしょうか。私は現在は車を運転していますが、元気であっても80才になったらやめようと思っています。買い物や趣味を続けられるなら、コミュニティバスを利用したいと思っています。是非今までのように続けてほしく思っています。よろしくお願いします。
- ・ 市でやっているセミナー、教室、イベント、検診等に参加したいと思っても、開始が9～10時頃だとタクシーを使わない限り参加できないことが多い。（徒歩圏外の場合）車がなくて幼児がいるので、特に子供の検診会場が遠いと交通費が非常に高額になり大変な負担。どのエリアからでも催しの開始時間に間に合うようにバスのダイヤを変えてほしい。また、バスの本数が少ないので、時間のロスが多く、使用をためらうことが多い。運賃を多少上げてもいいので本数を増やして欲しい。車を使えない人に使ってほしいのなら使いやすくしなければ意味がない。清須市では図書館が1つのため、アクセスが悪いと車のない人はかなり利用しにくい。また、庁舎毎に扱う業務が異なり、手続きによっては遠くの庁舎に行く必要があるが、これもアクセスが悪い。公共サービスへのアクセス改善は必要だと思う。（子供の定期健診も場合によっては遠くの会場を指定される場合があるが、車がなければ指定時間にたどり着くことは困難。必ず受けるべきものに公共交通を使っての参加ができないというのはおかしいのでは？）
- ・ あしがるバスは殆ど利用していない。主人が健康なうちは利用しない。
- ・ 私はあしがるバスの本数が増えれば使用したいが、現状ガラ空きのバスを見ると、経費（税金）を使ってまで利便性を良くしても使用者が増えるか分からないので、何とも言え

ない。

- ・ 義母が一人で桃栄在住です（83 才）。足が悪い。コンビニまでも 300m。あしがるバス停までも同じ位の位置にあり、せめて 100m 以内にバス停があればと云っています。（買い物に行くにもせめて、バス停が近くにあれば…）
- ・ あしがるバスの運営費用がかかるなら地元タクシーとの提携で介護により一部負担した方が良くも。（利用者があまりにも少ないと思う）
- ・ あしがるバスを名古屋駅まで行けたら良。清須のヨシツヤへの交通手段が増えると良。
- ・ やはり、バリアフリーで利便性を重視します。バスの弱点としては乗り継ぎの長さ。待ち時間がある。（本数が少ないこと）行きたいところへ行けず不便。
- ・ 「あしがるサイクル」はもっと色んな駅や場所で貸出や返却ができるともっと利用が増えると思います。またこのような交通手段があることを知らない人がまだ多いと思うので、その宣伝も必要かなと思います。
- ・ 問 5-3。徒歩での移動の際とあるが、新しくできた花咲クリニック横の歩道が、小学校の通学路であるが、アスファルトがくずれている。田んぼに転落する小学生もいる。不安である。あと、路上駐車、青空駐車がヒドイ。警察がもっと力を入れて取り締まるべき。怠慢だ。
- ・ あしがるバス乗降所が西枇杷名鉄駅近くになく、余計に利用しにくい。
- ・ あしがるバスは利用者が少なく、空で運行していることをよく見る。早く廃止すべきだと考えます。
- ・ 清須市内をまわっているだけでは利用する事はありません。名古屋駅とか栄とかに行ければともうれしい。もっと考え方を變更してみてもいいでしょうか。清須市内を回っても全く意味がないと思います。
- ・ 西枇杷島の住民は合併により特典がなくなり買い物生活に一番必要な道路が狭く自転車歩行時危険な状態である。殊に大和町（ヤマナカ）へ行く時狭い上に交通量が多い為一部区間一方通行にしていきたい。
- ・ これから高齢化がすすむと思います。高齢者の交通機関として公共のバスは必要になってくるでしょう。今後もふまえ対策を考えていくことが大切だと考えます。
- ・ 今の所自動車移動しているので申し訳ありませんがあしがるバスは利用しておりませんので答になりませんで申し訳ありません。
- ・ 下小田井に停車する電車を増やしてほしい。
- ・ いつも下小田井駅を利用しているのですが、多くの人利用する駅であるのに関わらず、朝、夜のラッシュ時刻の本数が昼よりも少ないため、学校に通うにも丁度良い時刻の電車もなく、大変不便に感じています。私だけではなく友人や家族も同じことを口に出しているのをよく耳にします。もっと下小田井駅に停まる電車が増えたり、需要が大きい時間帯を認識していただけたらいいなと思っております。
- ・ あしがるバスを見かけても中には、だれも乗ってなかったり 2.3 人位しかみた事がない。多数の人が利用すれば少しでも、経費が軽減されるかも？
- ・ 西枇杷島町から春日図書館等へ行きたいが、本数も少なく時間もかかるため利用してい

ない。

- 遠いところでも 100 円で行けるのは、高齢者福祉の観点では素晴らしいと思うが、利用が少ないのであれば、そこに高額税金を使うのは、よくないのではと思う。私は子どものいる世代なので、自家用車の方が便利で本数の少ないあしがるバスにはなかなか乗る機会もなかったが、今回このアンケートで一度乗ってみてもいいかと思った。特に雨の日の駅までの交通手段がなかったので（ただ、時間は合わないです）
- 清須市内にはあまり行きたい所はありません。名古屋市と合併を願っています。
- 鉄道駅周辺の無料駐輪場を増設・整備・管理（放置自転車への対処）を強化してほしい。あしがるバスのバス停の正確な位置が地図ではどこなのかさっぱり分からない
- 駅の自転車で、古いのは処分してほしい。清須市外の人に見られ恥かしい。
- バス地図はとても見にくいように思います。鉄道については、名古屋が近いこともあって本数も少なくないため不便を感じません。歩道の整備があまり良くなく子供をつれて散歩する時はとても気をつかいます。レンタル自転車は使う人いるのでしょうか？ 新清洲じゃなくて、清洲城で周囲の散策（さくら ていぼう まちなみ）に使ってはどうか？ バスは使った事はありませんが、西枇杷から春日へ子供と図書館へ行こうと思ったら 48 分かかるので、やはり車で行くと思います。市役所へは 12 分しかかからず、思いの他早くいけるのでびっくりしています。帰りのバスがないので使わないと思いますけども。バスのオレンジとグリーンの違いの無さは非常に良くないとおもいます。サクラのように、屋根全体を塗るべきです。私がバス停に立ったら絶対間違えます。ふざけています。
- 利用客が少ない曜日を指定して運行しても良いかと思えます。
- 現状は歩けたり、自転車で全て移動できるので特に問題はありません。
- 特に不便を感じた事はありません。
- 名古屋のように 65 才以上は無料になるとよいと思います。
- あしがるバスに乗車しているところをあまり見ない。利用者からも 5 分で行けるところ 1 時間近くかかり不便という声をきく。お年寄りのスーパーへの足なら、スーパーと共同でシャトルバスを運行した方が税金の節約にもなる。今のバスは、路線も数も中途半端で使い勝手が悪い。図書館や駅、病院などもそれぞれ独自の路線をつくらないと（例：図書館行きを複数）。例えば、二ツ杵の人がはるひ図書館に行く気にはならない。逆に二ツ杵の人が清洲駅を利用することは絶対にないに等しいから、図書館に行くために通るのは時間のムダ。そもそも図書館が少ない。もっと小さな図書館に自転車か徒歩でいけるようにすべきだと思う。まとめると上記を実現するには税金がかかるのでこれ以上いらない。
- この地域は比較的公共交通に恵まれている地域でありあまり不便を感じないが、交通弱者（高齢者等）にとって、医療機関、毎日の買物には不便を感じている方もあると思われる。あしがるバスに時々会うが殆ど乗車が認められない事が多い。又、車が大き過ぎる。利用者が限定的ではないか。タクシーの利用について補助（一部）を考えてもいいのではないか？ 例えば頻度により個人負担を月額いくらと決める。
- 現在住んでいる場所は、名鉄電車の駅が近く、あしがるバスを利用することがない。また自家用車もあり、自分で行動できる年齢でもあり、現在は必要性を感じない状況です。

今後、定年となり高齢化し個で行動を制限されてきた場合は、路線にある施設等への利用も増えてくると感じています。その為には「あしがるバス」の維持を是非ともお願いしたいと思います。市民の負担は当たり前と考えていますが、負担を重く感じる方もいらっしゃると思います。その点は少し負担が増えても仕方ないとも思います。1人でも利用者がある場合はなくしてはならないのではないのでしょうか。勝手に申しまして、すみません。

- あしがるバスのバス停の所に太陽光か何かで光の物を付けてほしい。
- 交通機関ではありませんが、道路整備がまだ十分といえない所が多々あります。歩道の段差やガードレールの無い道や道路幅の狭い場所。自転車、ベビーカー、シルバーカーの通行も歩行者と同じ所を使います。車道に自転車が出るとさらに危険です。道路事情を改善していきながら、共に生活できるようになれば、外に足を向け「あしがるバス」に乗ってお出かけも楽しくなるのですが…。
- 現在は自分で運転できるので、あしがるバスを利用することはほとんどない。また、清須市は JR や名鉄が充実しているため利用者も少ないかもしれない。あしがるバスで目的地に行ったとしても、帰りのバスの時間があわない。ルートが長い。ルートをもう少し短くする。名鉄新清洲駅や JR 清洲駅からヨシヅヤだけのシャトルバスにする等。ただ、年間通して赤字なのは改善したい。
- あしがるバスを利用しているのは、ほぼ高齢者の方。清須市内で行く場所をいえばスーパー位。名古屋市なら行く場所がたくさんあるので、バスを利用したいと思うが、若者目線で考えるとあしがるバスに経費をつぎこむのではなく、もっと違う所に使ってほしい。名鉄西枇杷島の上の橋なんか、朝夕まさに通勤ラッシュ時、混んでいて時間のロスだと思う。橋も古くて大丈夫なのかとも思う。若者の意見を主張する場を作ってほしい。
- JR 枇杷島駅を含め、清須市内の駅の自転車置き場の有料は反対です。もう決まってるみたいですが…。シルバー人材の代金（自転車整頓）は税金から減らせますが利用者である市民の負担になります。シルバー人材のおじさん方も仕事が減るとなげいていました。決定が信じられません。公共交通使用のさまたげになります。子供が小さいので基本子連れの移動は車になります。他人への迷惑を考えるとこれが最善かと。
- あしがるバスは年間どの位の方が利用されているのでしょうか？年間 3,600 万円もの支出があるのですね。もし利用して見える方がシルバーの方が多ければ、自宅から目的地へとタクシー利用の方が便利だと思います。あしがるバスは時々見ますが、人が乗ってる所はほとんど見たことがありません。
- あしがるバスじゃなくて地下鉄がほしい。
- 自動車保険関係の仕事をしていることもあり、65 歳以上の高齢者の方々には早目に、積極的に免許証を返納することを検討していただきたいと思っています。（安全性の観点から） そのためには市内の交通の整備が必須だと思うので、あしがるバスなどの取り組みはぜひ協力していきたいと思っています。ただ、市内に鉄道の駅が多いこともあり、若い人はあまり利用する機会がない（必要ない）ので、負担額のバランスは現状維持で良いのではと思います。
- 市内を走るバス路線をもっと作ってほしい。本数も増やして欲しい。

- ・ あしがるバスの循環バス。名古屋駅⇔清洲城。清洲城⇔名鉄本線新清洲駅。名古屋市民のように名鉄電車は65歳以上の人達に無料バス券を出す事を検討すべきだと思う。
- ・ 申し訳ありません。名古屋市内より引越しをしてきて、まだ2か月しかたっておらず、満足にアンケートにお答えできません。ただ機会があれば、ぜひ利用してみたいです。
- ・ 1人100円×48,000人=4,800,000円。3,614万+480万=4,100万。全額を市が負担して無料の運行ができれば利用者がもっとふえるのではないのでしょうか？観光客も駅でおりて、無料なら利用して外貨もおちるのでは？休日にはボランティアの町内の案内ガイドを乗車させては？市議さんの給料1人当たり年間20万円減額すればすむことでは？
- ・ あしがるバスは便利なのか、不便なのかわからないけど、子供だけでおでかけをする時安心だと思いました。私自身はいろいろな所を回って目的地につくので、車酔いをしてしまったので利用を控えています。久しぶりにルート図を見たらバス停、ルートも増えてビックリしました。
- ・ ①シニア向けの公共交通、とか、ターゲットをしぼった運営の仕方もありだと思います。交通事故を防ぐ意味でも。(例)名古屋市の敬老パスみたいに②ルート図にランドマークが少なく、バス停のイメージがわからない。
- ・ (あしがるバス)バス停が多すぎて、目的地までムダに時間がかかります。バス停からバス停までが、5分以内のところはなくしてしまい、その分バスの本数を増やしてほしいです。バス停は各小学校や駅、市役所、支所、主要なスーパーだけにした方がいいと思う(保育園や幼稚園、公園の近くは幼児が多いのでキケンな為やめた方がいい。ルート図と時刻表は、広げた時一面に印刷したほうが見やすいと思います。
- ・ 実際の利用状況を開示せず、このような調査は無意味だ。この調査にいくらの税金を使っているのか。あしがるバスを見かけても市民が利用している様を見た事は本当に少ない。何をもちこのアンケートが必要となったのか。まず、そこを説明すべきではないかと思う。有識者の意見がほしいのだろうが、その為にお金を使ってもしかたないだろうと思います。清須市企画部の発想があまりにもまずすぎる。余分な税を使うなら、もっと他の事に使うか、市民税を下げるべきだ。
- ・ あしがるバスは福祉のためには必要かもしれないが、ぐるりと廻るよりは、こまかい単位でまわる方がよいと思う。西枇杷島町は、図書館が遠くなり、全く利用しなくなった。とても不便である。いろいろ不便だ。もっと名古屋市図書館のように窓口図書館があれば、ネットで予約、窓口で借りることもできるが、窓口が5時閉じるなど全く利用者の立場に立っていない。市民は老人と子供だけにやさしいが、税金をはらっている世代や学生にも時間をひろげてほしい。そのためには、職員を減らし、パートやアルバイトで窓口などの運営をすべきだと思う！

<新川地域>

- ・ 須ヶ口駅前にスーパーが無いのが共働き世帯としては非常に不便。
- ・ 東京の上野・浅草近辺では、台東区の小さなバスが走っています。JR や地下鉄が不便な箇所から、例えば上野駅へ行くのが結構簡単に行けるルートになっていて、本数も結構あります。乗客もお年寄りだけではなくて、病院へ行く妊婦さんとか、観光客とかいます。こういう所を見て来て、参考にしてルート選定されてはいかがでしょうか。清須市内では、名鉄と JR の駅から横にピストン運送するバスを増便したらどうでしょうか。バスのオレンジ、グリーンより、スピーディで利便向上すると思います。清須市役所も新川役場跡に移転して集約することですから、役所の職員の方も朝夕働くからピストン運転してくれそう。車通勤が減って、エコにもつながるのじゃないでしょうか。
- ・ あしがるバスの塗装を目立つようにし、利用者、市民の目に留まるようアピールする。
- ・ 年寄りを外に出そう。買い物したら無料券とか考えたらどうですか？ 車で行くと無料駐車だけど、バスで行くと 200 円。だれものらんでしょ。乗る時はバス停、降りる時は家の近くとか出来ないのかな。
- ・ 地下鉄まで接続していると利用者も増えると思う。
- ・ 東外町からヤマナカロイヤルに行ったが帰り時間が早すぎるので買い物がゆっくり出来ない。100 円バスは車に乗れない者にしては有難いです。
- ・ あしがるバスは不便だと思います。時間も少ない。乗ろうとしても、行きたい場所へ行く為には乗り換えが必要であること。名古屋市のように、本数・時間を増やす工夫が必要です。市民に負担をさせておきながら、市民が利用しにくいバスでは意味がないと思います。
- ・ 清須在住、1 年 5 か月ですのでよく分からないことばかりですが、当分は自分の自動車ですべて移動に利用しています。（現在のところはそれでバスはよく分かりません）
- ・ まず、第一に間 14 にある 3,600 万円の支出が妥当かどうかである。1 ルート 1 台の車輛として 3 ルートあるので 3 台、単純に見て 1 台あたり月 100 万である。予備車輛を用意したとしても月 100 万はどうか？と思われる。2 点目は、ルートが複雑すぎて理解できない。単純に東回り西回りの 1 ルート 2 方向にすればわかりやすいし、車輛の予備もルート別に必要なくなる。
- ・ 駅が遠い所に住むと、車に乗らない者はとても不便を感じます。
- ・ 質問の内容から判断すると、「あしがるバス」の継続に関する市民意識の調査だろうと推察しますが、72 才の元気な小生（94 才の親・別居生活）という身での回答です。現状で、本人としては「あしがるバス」の利用は本数から考えてほとんど利用する気持ちはないのが現状ですが、今後 70 代後半から 80 代に（幸運にして永らえば）バスの利用もしたいという気持です。一度始めた行政サービスは、住まう（税金を払った）市民に役立つようにルート設定から料金等「きめ細やかな」変更と適合をしていくべきです。「今」がなかなか効果が上がらなくとも「継続は力なり」で長寿社会化する日本での血肉ある動脈になることを念じています。（市内に 10 駅）という偏向的な清須市ですが、その駅が市民生活

的に役立っているかもう少し深掘りする調査が必要だろうと感じています。「駅より自家用車利用の市民」－名古屋近郊。10 駅が半減しても市民は困らないのでは…と思う昨今です。(企業倫理として)

- 北名古屋市市の市バスの運転手さんより丁寧で好感がもてました。案内も詳しく教えて下さり、ありがとうございました。
- あしがるバスは JR に重点を置いているのでしょうか？名鉄電車にはグリーンルートしか通っていません。JR より名鉄のほうが停車する本数が多く利用客(あま市・津島市など)も多いと思います。新しくできたはるひ呼吸器病院も午前 10 時台に 1 本では、乗り遅れた時受付に間に合いません。お年寄はタクシーを使うしかありません。
- バス停がもう少し近くにあったらこれからは使うかもしれません。腰がわるい。
- 私の親がよくあしがるバスを利用しています。今後も、現状維持で運行していただくと大変嬉しいです。
- 稲沢市にはなりますが、JR 清洲駅の西口整備の早期着工に働きかけをおねがいします。
- 車にのれなくなったら使用したいと思っていますので是非続けてほしい。
- あしがるバスについて、100 円だから利用していますが、上がれば利用しない。名鉄電車で名古屋方面へ買物に出かけた方が時間も短く出来るし、健康的にも良いと思う。
- 高齢者にとって買物に行く時「あしがるバス」は大変便利(独居老人)。
- JR 枇杷島駅を利用していますが、自宅から駅までの道路に不満を感じます。今後整備があると聞いていますが、駅までの道、徒歩、自転車での危険のないような整備を希望します。
- 市内の移動は自家用車がほとんどです。名鉄・JR の駅までも歩いて 10~15 分とけっこう近くあしがるバスを利用することがないのでいい意見は出せませんが、あしがるバスは必要だと思います。公共交通とは違うかもしれませんが、駅の駐輪場は無料にすべきです。というか、無料の駐輪場の整備をしてほしい。
- あしがるバスについて、全く利用はしていないが、バス停が分かりにくい色をしているなど思ったことは多々ある。(小さくて目立たないので「こんな所にあったの?」という印象) 年配の方を対象にしているのであれば、ちょっとしたベンチなどもっと置けばいいのではと思います。私の住んでいる地域では、立っているのが辛そうな方をよく見かけるのでそういった設備があっても良いと思う。
- 名古屋市民に敬老バスが有る様に、名古屋駅へ出るのに名鉄電車の運賃が 65 才以上を対象に割安にして欲しい。そうすれば、名古屋に出向く人が増え、健康にも経済の活性にもつながるのではないのでしょうか？本当は名古屋市内の地下鉄、市バスが敬老バスの様に利用できる制度を是非作って頂きたいです。
- 各年齢層の存在する日常で高齢者の方の交通が充実することが、今大切だと思う。いわゆる公共交通機関から遠い不便な地域を優先に整備されていくことを望みます。
- 公共交通に関することではありませんが質問の内容が分かりづらいです。特に 22-1 の質問で塗りつぶす意味？場所なのか？あしがるバスの停留所を塗りつぶすのか？又、停留所の間に住まいがある場合はどちらを選択するのか分かりませんでした。

- こんなに名古屋に近いのに、自動車なしでは生活できない。大変、不便である。私はまだ老人ではまったくないが、キリンビール工場、中華群つる、焼肉がんこ亭などビールを飲んで食事がしたい！そのため「あしがるバス」を利用したいと前々から熱望していた。乗り継ぎなしでストレートにその場に行ってビールが飲みたい！それだけです。どうかヨロシクお願いします！わざわざ名駅、栄まで行って飲むのがめんどうだ。もう私も清須市に住んで15年だ。清須に愛着がある。できるだけ清須の店に行こうけんしたい。どうかキリンビール名古屋工場、中華群つる、焼肉がんこ亭にわたしのアパート付近から、ストレートで、行き帰り「あしがるバス」が運行していただける様、心から熱望している！運行時間はPM1:00～PM6:30の間くらいでよい。清洲城があって、清須はなかなかすばらしいところだ。ビールを飲みながら気軽に町を楽しみたい。
- 市は「あしがるバス」運行の為に運賃とは別に年間市民1人あたり540円…1ヶ月あたりにすれば45円…すごく安いと思います。ただ乗客1人あたり745円というのは高すぎると思います…。結局利用者が少ないということですよ？名古屋市内の敬老パスのような制度をもっと大きく打ち出して高齢者の運転者を減らし、交通事故、コンビニなどの突っ込み（アクセルとブレーキの間違い）高速の逆走が結果的に減る…。あと、新川高校の子供達が雨の日も風の日もカップを着て自転車に乗っているのでも新川高校へのバス系路も増やしたらどうでしょう？不審者も多いし、自転車以外の交通機関がないので、朝と夕方と運行があれば便利だと思います。JR・名鉄・城北線と清須市は駅の数恵まれてると思うので、やっぱり駅までのルートを増やすといいと思います。それも時刻表に合わせて！！朝と夕だけでいいと思います。名古屋駅も近いし、清須市はもっともっと変わっていきける市だと思います。期待しています！
- アンケートの趣旨とは違うと思いますが、個人的には以下有れば助かります。通勤利用に活用できればと。

東須ヶ口⇄名古屋駅	8:20(往) - 20:00(復)	200円
東須ヶ口⇄桜通本町	8:20(往) - 19:30(復)	300円
東須ヶ口⇄須ヶ口駅	8:20(往) - 8:30(復)	100円
- 災害時（大雨・暴風雨等）。よく名鉄電車・JRは運休してしまい困りますので、そういう時は臨時バスを、名古屋駅⇄市役所分室（清洲庁舎）ピストン輸送して頂ければいいなと思います。
- あしがるバスのサイズが大きいバスに変わっていますが、それほど利用もない（いつも5～6人、少ないときは1～2人）のに大きくする必要はないと思った。経費のムダ使いです。
- はるひ病院へ行きは良い良い、帰りがバス待ちが永く、タクシーで大変だって聞きます。せめて昼前に須ヶ口駅につくようだと便利です。
- 転勤にて引越してきましたが、旧体制での町名で話をされると全く分からない。地元の方にも今の地名を話しても分かってもらえない時がある。その辺が一覧にて理解できる表や地図があると非常に助かります。役所の人にも話がし易いです。
- ほとんど利用者の無い停留所が多すぎて目的地迄の利用時間が長くなりすぎ。少数意見

で停留所を作り過ぎ。運転手によく聞いてもう少し少なくしてほしい。(東町公民館等)

- まだ自分で車が運転できるので他人事の様ですが、10年もし生きていたらと思うと、矢張りその時はバスを利用せざるを得ないと思います。矢張りその時一番問題になるのは、自宅の最寄りのバス停です。タクシーの様に家の前まで利用する時、連絡が取れて来てもらえたらと都合の良い事を考えます。
- 1時間に1便あるともっと利用できます。
- たまに暴走するバスを見かける、歩行者もいるので(安全運転ではない)。安全運転は大事。
- 少々乱暴な運転する方が見うけられます。(自家用車で市内を運転中の出来事)
- バス停が細かく設置してあるので自宅からも徒歩でバス停まで行けて利用できるのは良い。
- 本数が少ないため、目的地に行っても帰りたい時間にバスがない。なので、その目的地に行くことをあきらめるかタクシーを利用するしかない。自動車を運転しないものにとってあしがるバスは貴重だが、もう少し本数が増えてほしい。
- 時刻表が改定された後、数か月くらいたっているのに清須市のホームページの時刻表は以前のもので、バス停に掲示してあるものと異なっていたので、大変困った事がある。(本数が少なすぎるため、その便を逃すともうどうしようもない)
- 駅に行くバスを多くしてほしい。
- 駅が少なく、利用しない。1回500円ほどで電話すると駅まで送るようにしてほしい。
- 現在、公共施設等出かける場合、自転車の利用で行くことができます。自転車が乗れなくなった時にはあしがるバスを利用したいと思っています。一度ルート図を使って清須市内を散策したいと思っています。
- 名古屋市営バスと提携したらバスに乗る頻度は増える。(特に土日での使用が。)
- 問1について、問い方が不親切である。
- 城北線をもっと利用しやすく利便をよくしてほしい。もっとアピールする。
- これくらいの企画のアンケート・集計・分析・今後の対応ect.は税金を使って外部委託で楽をしないで自分達でこなすべきと考えます。コスト意識の高い民間企業であれば極普通にできるマーケティング調査だと思います。自分達にスキルがなければ先生をアドバイザーでたまに入れる程度でできなければいけない。優秀で高給の市役所職員ですから。
- 下河原地区に在住しておりますが、日々の買物ができるスーパーそして名鉄線駅が遠くて困っております。高齢になり自転車の移動も危うく無理です。「あしがるバス」の本数が増えますよう、ぜひお願いしたいです。
- 以前(出身が名古屋市内)は、鉄道の駅から歩いて約20分のところに住んでいたが、最寄りの駅まで市バスが走っていて何も不充を感じていなかった。清須に引っ越して、駅から徒歩約5分のアパートに住み、現在は持ち家となり徒歩10分に定住しました。以前名古屋まで勤めに出るとき、私は晴れ雨の天気に関係なく徒歩ですが、駅からかなり離れている人は晴れていたら自転車などで向かえますが、それ以外の時はどのようにしているんだろうと思っています。交通機関が充分でない地域の人には歩きや家族の送迎が当たり前

になっているようですが、自家用車が駅の前で混雑することはあまり良い事だと思いません。あしがるバスの通勤（通学）ラッシュ時の本数を増やして駅までの便を充実させたら利用者が増えて、運賃を少しばかり上げて良いのではないのでしょうか。

- お年寄りなどが利用されて病院へ行くときの足となるように、大きな病院への駅を作るなどを考えてほしい。
- 清須市は子育てがしやすい市だと思っておりますが、出産しやすい地域ではないと思います。産科・婦人科がなく、どこで出産すれば良いか考えてしまう市です。公共交通機関を充実させて産科婦人科を作り、若者、お年寄、妊婦に平等に優しい市を目指してほしい。
- 昔からの旧道が多く道幅が狭いのは仕方ないが、歩道が狭く接触事故がおこりやすい道があるので、その辺りの危険予測をして、広報きよすなどでとりあげてほしい。
- 道路の舗装が悪かったり、道に大きくなりすぎた雑草が生えて交通の邪魔をしている。そのようなところも気を付けてほしい。
- 自家用車が主で公共交通は名鉄以外は使用していませんので、あしがるバスの事も余り分かりません。
- JR 枇杷島駅が新しく改装されてもタクシーがほとんど居ない。名駅から 23～24 時の時間帯で 1 台も居ないことが多すぎ。タクシーを呼んでも断られる。星の宮駅も無人なのはとても怖くロータリーに停車している車も多い為物騒で利用できない上、運賃が名鉄電車並みに高いので作った意味はあるのかとても疑問に思う。城北線が JR 線に変更になると、とても有難く利用しようと思う。
- 昼間、乗車する人はどれくらいいるのか。市外にも（名駅・栄方面）運行すれば学生も使うかも。とよやまが手本になる。必要のない事はやめるべき。税金のムダ使いになっている。運転が乱暴だと思ったドライバーがいる。待ち時間を考えると自宅までタクシーを利用した方がいいと、ご年配の方に聞いた事がある。私も同感。目的地まで乗り継ぎ不便。
- 家から最寄りの尾張星の宮から JR 枇杷島を経由して名古屋駅まで 410 円（220 円+190 円）もかかる。利便性は高いが費用が高すぎてプライベートでは使用しない。

<清洲地域>

- JR 清洲駅の改札口を西側につくってほしい。清須住民にはとても便利になると思います。
- 75 才以上位の方又は歩行困難な方にはタクシー券のある数（枚）を渡す、又は半額程度の割引券を必要あると言われた方に（事情を聴取した上で）支給したらどうか？ほかの自治体では実施しているところあり。
- 自分は 40 代なので車が有るので現状でも困らないが、車を持たない人にとっては、運行時刻が問題だと思う。老人なら朝の診察時間にもっと早く行きたいだろう。本数を増やすとなると人件費（運転手の）等が増えるので、市や個人の負担が増える。そこまで必要なのか分からない。やはり、車を持たない人達の意見を参考にすべきでしょう。現在の利用率が低いなら、無駄に空っぽで走らせるより個別対応のタクシーの様な物の方が良いのかも。その際の負担額は市民側を増やして市の負担は現状並みか低くて良い。
- アンダーパスで事故が起きないようにしていただきたいです。
- 私は 40 代で自家用車と免許証があり、あしがるバスを使う機会がありません。あしがるバスの現状維持も良いのではないかと思います。ただし、どれくらいの人が利用しているか、どの区間が多いのか把握をするべきだと思います。（年齢層の把握も！）利用している人、本人（お年寄りの方）にアンケートしてほしいです。もし、現状維持より、安く（市のお金が）すむなら、別の方法をとってもいいかもしれません。バスでありながら、タクシーのような要素があって、利用したい人が電話するか、ボタンを押すとそこへ急行するとか…。かといって、タクシー営業を妨害するのは良くないし…。タクシーを安く利用できる券（割引券）のようなものを、利用したい人が市で購入するというのはどうでしょう。利用しない人の負担が減るようにしてほしいです。助け合いなので、もちろん市の税金で運営するのは良いことだと思います。名古屋市みたいに無料パスではパンクしてしまうので、そこまでお金をかけてはいけないと思います。
- あしがるサイクルをもっと宣伝するべき。観光客が使いやすいように宣伝（自転車の）および道の案内をすべき。あしがるバスは 48,000 人利用とあるが、利用者は限られている。（同じ人が何度も利用）利用者を増やさないと税金がもったいない。清洲駅の周辺を整備してほしい。車、歩行者がとても危ない。清洲城やアルコのプール等、市外から人はたくさん来るのに上手に集客できていないのでは。特にアルコのプールは混むから電車で行きたい人も多と思われるので、駅とプールのピストン輸送をしたらよい。
- 名鉄新清洲駅の駐車場について。以前は無料でしたが、有料になり負担が増加しています。8 時 (AM) には満車になり、不便を感じております。五島病院前の交差点付近で、車にひかれそうになった事があります。（数回）運転と交差構造に問題があるのでは…。
- 私は普通免許証を持っていません。今は自転車で移動が可能ですが、将来的に病院だとか買い物だとかがあった時が不安です。稲沢市みたいに充実していると助かります。ただこれから便利にして負担が出てくると思うので、その時は負担額を明確にして住民投票でやれば良いと思います。今のルートを見ると市役所や庁舎へ行くのは行きやすいと思うの

ですが、自分の家の近くから病院であったり、ショッピングセンターであったり、駅であったりするほうがいいと思います。新清洲駅の駐輪場の一時預りのところがもっとあればいいと思う。それと料金を支払うところがわかりやすければもっといいと思います。

- 今年3月より新清洲駅が有料となり、とても不便になった。これでは公共交通の発展に逆行の施策をしか思えない。非常に不満である。
- JR 清洲駅について。西側から駅に入れることを多数の住民が望んでいます。稲沢市内の土地であり稲沢市と共同で利便を計ってもらいたい。稲沢市住民も多くの方が望んでいます。又、駅の南400~500mのJRのアンダーパスは学生等も多数通行するところですが、高さが1.5m位で背を丸めて通行しています。非常に不便です。駅付近の自転車置場について。駅により有料、無料の区別があるのはおかしい。本来事業者(鉄道)のお客であり、事業者負担とすべし。
- あしがるバスは利用する人が少ないように思います。個々にタクシーを利用しやすくしたらどうでしょうか？JR 清洲駅でタクシーを探している人よく見かけます。お年寄りには足が不自由なのであしがるバス停まで歩くのは大変ではないでしょうか？炎天下で待ってる人も見たことがあります。
- 名鉄新清洲駅。老朽化。(狭い・古い)。エレベーターがなく、ベビーカー連れ、高齢者には不親切。トイレが臭い。自転車置場が全面有料化され、不便。(有料の上に、屋外にされられて雨天時に困る。)
- あしがるバス。走っているのをよく見かけるが乗客が少ない。もっと少人数向けのバスにして費用を抑制したら？通学・通勤時間帯(7:00~8:00)の運行があると良い。
- JR 清洲駅の改札口を西側にもつくってほしい。東側まで行くのに時間がとてもかかる。踏切が長すぎる。バス乗り場がわかりにくい。バスの時間がいまいち使いづらい。
- あしがるバスは不便で利用した事がない。本数が少ない。
- 私は車で市内を移動するため、あしがるバスは使いません。あしがるバスを利用される方は老人？子ども？が多ければ、使用される方の意見を反映して頂くと良いと思います。20代、30代で通勤で利用しない限り、あしがるバスが便利になっても車を所有している限り、あしがるバスを利用しないと思います。
- 雪や台風ですぐとまらないようにならないと、常時自動車利用からシフトは難しいです。
- 自家用車の手段のない者にとっては買物が大変不便。ぜひ公共交通機関の充実をお願いしたい。病院へ行く場合のタクシー代金の補助がある地域の話をよく聞くが、高齢者に対しての便宜があるとありがたい。
- 近くに庁舎がなくなるので、本数を増やした方がいいと思う。
- 高齢者にとって生活するに一番心配なのは交通の便です。市にもあしがるバスがあるので利用者から利用しやすい様にして頂けたらと希望します。名鉄新清洲駅を利用しますが駐車場が有料ばかりで困っています。永久的に続くのですか？
- 市内のあしがるバスと他のバスとの連絡ができると良いと思います。例：【自宅】→あしがるバス→【JR 清洲駅】→稲沢のバス(現在なし)→【稲沢市民病院】。他の市バスと連絡することにより相互のバスの利用者がふえると思うのですが。

- ・ 新車に切替えるのは何年ですか。日頃各バス（あしがる）を見ますが余り乗車している方が少なく感じられるのに新車に切り替える必要性があるだろうか。車の点検は1年ごとにされているだろう。市民は流行をおってない。年寄は安全に目的地に届けていただければよい。乗り心地が少々わるくても気に掛けないよ。逆に昔をしのぶ様になる。こういう理由から古きを楽しんでいます。このバスのガソリンは何を利用（使用）していますか。市民が家庭で出る油（テンプラ等の油）を使用すればガソリン代等が節約できる。市費の節約にもなる一度検討して見て下さい。
- ・ 名鉄新清洲駅の北側は利用者の送迎で車の交通量が多い。ロータリーになっておらず通り抜けができないため不便。東側と西側の駐車場らしきところに勝手に進入してUターンしているので整備して車が流れるようにしたほうがよい。駅前の自転車置場が有料化されたのはよいが利用方法が市民によく伝達されていないためどうしたらよいかわからない。1回のみ利用でも通勤通学でも利用しやすく案内したりもっと多くの台数が止められるように場所を確保してほしい。車用にコインパーキングがあってもよいと思う。駅前に空家らしき家は何軒もあり、長年放置されているが治安の面からも収益を出すためにも、取り壊しを含めて市の責任で駐車場や駐輪場または公園などに整備したほうがよいと思う。徒歩で駅まで行くのが安全でなければ進んで公共交通を利用する人はいなくなってしまう。
- ・ 名鉄新清洲駅の再開発を早期に進めてほしい（高架事業も含めて）。JR 清洲駅も含めて、早期の再開発をしてほしい。南側にも改札口を新設してほしい。あしがるバスの停留所をもっと増やしてほしい。
- ・ 今の所は自動車に乗せてもらえるし、近くは自転車・徒歩で行けるけどいずれは稲沢病院等近くの病院へ行ける方法を考えていただけたらと思う。利用者が少ないのに市の負担が多過ぎ。別の方法はないのでしょうか。
- ・ 日々の業務ご苦労様です。「あしがるバス」に関しては一度図書館へ行く為利用させて頂きました。図書館の場所がはっきりわからなかった事とサクラルートを守る新しい方のバスに乗ってみたかった事があったからです。自宅前はオレンジとグリーンルートの二つのみ停まるので清洲庁舎まで歩いて移動してからの利用でした。庁舎は3ルートすべてのバスが乗り易くしてあるので、近い時間にオレンジ、グリーンのバスが来たのですが乗らないのにその時の運転手さんは声をかけて頂き「すぐにサクラルートも来ますからね」とやさしい言葉も頂きました。心がほっこりしたのを覚えています。利用者の数がどれくらいわかりませんが、市の負担額もあり大変かと思いますがあしがるバスは維持して頂きたいです。今は車も運転できるので利用回数はほぼナシですが、何年か後「利用したい」と思った時利用できないのは悲しいので。
- ・ 毎朝、新清洲駅まで徒歩で通勤していますが、喫煙者が途中多くて困っています。喫煙所での喫煙は文句ありませんが、歩きタバコが多く迷惑しています。名古屋市内では歩きタバコを取り締まっているエリアもありますが清須市はそういった取組はないのでしょうか？これまでいろいろな街に住んできましたが歩きタバコにこれほど嫌な思いをした場所は初めてです。

- ・ 私も、もうすぐ後期高齢者となります。今は自分で運転が出来て買物や移動は車を使いますが、近いうちに運転免許証を返納する時はいずれ来ることと思います。その時はあしがるバスを利用すると思います。私の友達も、よく利用するお話を聞きます。買物や駅への移動に利用しているようです。是非共、我々高齢者のためにも時間的にも回数が増えるようにしていただきたく思います。
- ・ 利用状況にもよりますが、本数を増やしても十分満足できるか？と思えばそうでもないように思える。午前中は、高齢者の方の病院等の足としてはいいのではないかと思う。夕方はちょっとした時子供が習いごとに行くときとか送ることが出来ない場合や帰りなどに安心して、子供だけで乗せることができれば少しは利用者が増えるのではないかと思う。ヨシヅヤ清洲店なんかには、カルチャーが入っているので習い事の時はいいのでは、そういった場所の方々に意見をもとめてもいいと思います。
- ・ あしがるバスに対して通勤・通学に利用できるとは思えない。市外からの観光で使用されているとは思えない。交通手段のないお年寄りが利用するのに満足されていれば良いが、そうでなければ存在意義が分かりかねる。
- ・ JR 清洲駅の改札口を南側にも作っていただけたらと思います。
- ・ 経費を考えると、長い路線を1台のバスで行くこととなり、利用しにくくなります。本数を増やせば、経費がふくらみます。よって、発想を変えて、目的地にストレートに行く手段を考える。例えば、カーシェアリングに市の補助金を出す。また、市の合併で広域になって、結局不便になっている。(図書館は一か所しかないというように) 分室を旧の町に設けて、一か所に行かなくても近くの分室を利用すれば、利用の少ない「あしがるバス」の利用も必要なくなる。行政サービスも旧新川庁舎に行かなくても分室でネットを利用して済ませるようにすれば、バスを利用しなくても良い。「あしがるバス」を利用しなくても日常生活が済ませる環境を作ることが大切と考えます。
- ・ 名鉄の高架化の実現。
- ・ 問題の意味・意図がわからないことが多い。・公共交通機関を利用する(している)のが前提な為、答えられない問題がある。
- ・ 今のところ自分専用の車が有る為、必要は感じません。一回だけ利用した事があります(土田公園～湯吉郎迄) そのバスの中での会話 70代～80代と思われる。2・3人の方(ヨシヅヤからの帰りの様) から「買い物する所が近くに無くバスがあるのでとても助かっている」との声が聞こえました。あとは小さな子どもを連れた若いママでした。買い物帰りの様で大きな荷物を持っていました。家の近くに止まるのでとても良いと思いました。これからますます高齢化が進むし、1人暮らしの方も増えると思います。自家用車での移動がスムーズに行くようにあしがるバスを充実してもらいたいと思います。便数を増やしてほしいと思います。
- ・ あしがるバスは無人で走っているのをよく見ますし、駅への利便性を最優先しないならお年寄りで自転車にも乗れない方向けと考えると、不要もしくは安価なタクシーや、電動自転車を安価に購入できる等、他の事を検討してもらいたいです。実際に名古屋市と比べると駅が遠い、電車賃がかかる等、お年寄には住み難さがありますよね？電車の利便性に関

して、JR は本数が少なく頻繁に遅延し仕事も生活もし難く名鉄は自転車置場が空いておらず、その上有料で同じ様に使い難いです。(JR も有料にし、収納数を減らすなど論外です)(その為、自転車通勤していますが、法律上の車道を走るなどとても怖くて細い道ばかりです。)

- 目的地に着いても、帰りの便が2H待ちとか聞いたことがあります。これでは利用する気が出ません。例えば清洲庁舎へバスで行っても帰りのバスがなかなか無いなど。もっと市民に利便性をアピールして下さい。あしがるサイクルについても、あまり知られていないと思います。
- 自転車専用道路の早急の取組。自転車は歩道ではなく、車道を走るようになっていると思いますが、自動車を運転している人も、自転車に乗っている人も危険でかえって(歩道ではない)事故は起こりやすい気もするので、事故を起こした時は大きな事故につながる。自転車が車道を走っている時、車での運転でそうぐうしたことがあります。せまくてこわい気がしました。後ろから自家用車が来る。自転車は駐車除けるために右に出る。乗用車と追突する可能性は大きい。大きな事故につながると思う。法律(規)が先行して設備が遅れている。反対でしょう。設備ができてから法規を決める。危ない上に税金のみを取ることを考える。おかしいと思いませんか。
- あしがるバスに広告をつけて負担を少なくしてはどうか(市バスなどもやっているように)。自転車1か月契約料金高いと思う。1,000円くらいにできないか。
- 新清洲駅に特急が停まるとうれしいです。ホームへ上ぼるのに階段しかないので、ベビーカーだと不便です。エスカレーターが設置されると助かります。
- 私に車の免許証がなく主人が脳出血で倒れセントラル病院から五条川リハビリを紹介されわたしは自転車で通いました。雨の日は、あしがるバスで本当にたすかりました。車も運転できず悲しい思いをしましたが、あしがるバスのお陰ではるひ図書館へいける様になり月2~3回2人であしがるバスを利用しています。孫が来た時は3人でヨシヅヤへいく事もあります。同乗している方々は本当に助かっていると口々に言ってみえました。これから年金生活者も増え、この金額で乗れるのは本当に助かります。
- JR 清洲駅前の自転車置場は放置されている自転車が多いので整理(撤去)してほしい。又、同駅前の自動車停車場所が不便すぎる。迎えに来る車が多いので渋滞になっている。
- 名鉄新清洲駅の無料駐車場(自転車)がなくなったので困っている。
- JR 清洲駅の改札口を反対に(新幹線側)作ってほしい。JR の線路下の低くて狭い所を市民が通って利用するのは非常に不便!
- 清須市に越してきて、5年めになります。暮らすには、とてもいい所です。が、大雪や雨、災害があった時の交通手段に非常に困ります。アンケートの中に65歳以上とありましたが、未満の市外へ勤める人たちへの配慮が全くなされていない気がします。何とか城北線にしても(きよすあしがる)にしても公共機関が便利になると自分以外の人たちも嬉しいと思います。どうかよろしくお願いします。
- まだあしがるバスを利用する年齢ではありませんが免許証を返納した方々にとってもとてもありがたい手段だと思いますので続けてほしいです。

- ・ あしがるバスに乗った事がありますが、もう少し乗り心地がよくなると嬉しいです。清須市民センター→JR 枇杷島駅まで利用しました。細かい道をクネクネと曲がるせいもあり、子供と私は酔ってしまいました。停留所がたくさんあり、実際に止まる箇所は少ないですが、運転手さんが時間に遅れないように、必死で運転しておられました。利用されるのは、お年寄りが多いかと思いますが、細かい裏の道にまで停留所があり、ありがたい反面「乗車していて疲れてしまうなあ」と感じました。
- ・ 名鉄新清洲駅の駐輪場、北側にも屋根付きを希望します。南側とは屋根がない分、価格が安くなっていますが、どうせお金を払うなら屋根付を希望します。北側は夜も照明が暗く仮設感がありすぎます。それと北側に、一日預かりの場所を増やして欲しいです。現在、違う業者？の一日預かりの駐輪場がありますが、自転車があふれているのを目にします。以前はシルバーの方々が工夫され、沢山の自転車が置けましたが、今はスペースがあっても定期のみで、久々に自転車で駅に来られた方々が非常に困っておられます。
- ・ 以前はシルバーの方々と、毎朝あいさつをし迷っている人が居れば声を掛けられ暖かい雰囲気でしたが、今は監視される駅前となり寂しい冷たい雰囲気がしています。
- ・ 今の現状ではとにかく不便である！！（あしがるバス）私にとってあしがるバスは必要ない。また清洲駅も線路をくぐったり渡らなければいけないので、こちら側にも出入口を設けるべきである。あしがるバスもとにかく本数を増やしてほしい！！そうしたらもっと利用する人が増えるかも…。15分/本なら自分も利用したい。
- ・ 今は車で清須市内公共施設へ行くが将来（70才以降）あしがるバスを利用したいと思うが、本数を増やすのと、70才以上は無料にしてほしい。外に出ることによって認知症の老人が減るのでは。と思います。
- ・ 公共交通に直接関係する意見ではないがこのアンケートの質が悪い。選択させる場合は全ての人が必要とするよう選択肢を用意すべきである。意味が理解し難い問題がある。例えば問14・15。あしがるバス”運行のために”と”運行を維持する”の違いは何か？運賃100円はどちらに使われるのか？双方に使うならその比率は？また”運行のため”の支出は市民1人当たりで算出し、”運行を維持する”は乗客1人で算出しているのか？このような場合は費用総額、人口1人当たりの負担額、乗客1人当たりの負担額を各々明記すべきではないかと思う。
- ・ せっかく経費をかけてアンケートを実施するのであれば、市民の声がより正確に反映されるよう設問の内容を吟味し配慮すべきである。このような雑な内容のアンケートにしたということは”誘導したい答えありき”ではないかと勘繰ってしまわざるを得ない。清須市企画政策課及び名古屋大学大学院加藤博和研究室の反省と今後の努力を期待しています。
- ・ 鉄道はほとんどJR清洲駅になります。西市場に住んでいますので、駅の南にICカードのみの改札口ができるとすごく助かります。あしがるバスはまだ利用していませんが、この先だんだん運転することが困難になっていったとき、公共施設へ出かけたりするのに便利だと思うので、増発して多くの人を利用できる、利用したいと思えるように改良していただけたら嬉しいです。

- ・ 高齢者が利用しやすいあしがるバスになってほしいです。全体ルート図のルートは色が分かれているので、線の種類を変える必要はないのでは？点線のサクラルートとグリーンルートが見にくい。道路が暗い。外灯が少ない。新清洲駅のバリアフリーが整っていない。ホームが狭い。
- ・ 名鉄バスなどがあると良い。あしがるバスも通勤・通学（朝と夜）の時間帯があると良い。
- ・ 名鉄清洲駅は地下を通らねばならないので、足の悪い人には大変です。エレベーターがほしい。
- ・ JR 清洲駅前について。雨の日、雪の日など人の迎いの車で通れないなど、いつも不便に思っています。駅前が明るく近代的になる様に思っています。
- ・ あしがるバスの利用者が少ないので（と思うが）この先運行していくのが心配です。市の（私達）の負担が増えるのが心配です。が、年齢がいけばいくほど利用したくなると思います。自転車も自動車も使用できなくなるので、そうゆう方にとっては必要だと思えます。今は働くのに必死ですが、この先老後は必要になると思うので現状は利用しないが、何年後かは利用すると思う！
- ・ 名鉄が止まってしまった時に、須ヶ口から新清洲駅や、JR 清洲駅→名鉄新清洲駅などがあれば利用したい。路線バスよりもスクールバスや習い事に行く先へのバスがあればいい。
- ・ JR 清洲駅前の整備をもっとしてほしいです。駐輪場もひどい混雑で朝整理している人達もいがかげんです。駅前の駐車もみんなひどい止め方をしている方ばかりで歩行者が大変迷惑しております。（特に夕方の駅前はひどいです）JR 清洲駅も乗車する方がとても多いので、もう少し安全になるように考えてもらいたいです。あと、駅前のポイ捨てタバコが多すぎます。
- ・ 名鉄電車で名鉄名古屋駅から丸ノ内駅へ行く場合。一般的（多くは）には、須ヶ口駅まで急行で行き、普通に乗り換えるが、1日に何本かは、須ヶ口駅発の普通が名古屋からの急行を待たずに、無駄に発車して新清洲駅で急行待つことがある。新清洲で急行を待つのであれば、丸ノ内駅への降車客のことも考えて、須ヶ口駅で待機してほしい。あしがるバスの周知と客数増加のため、イベントを企画してみてもは。例えば、清須市内の名所と「あしがるバス」・名鉄・徒歩とを組み合わせた市内巡りなど…。（一時的に多数が殺到しないような、恒常的な企画がよいかも。）旧清洲町の顔である「新清洲」駅の周辺整備（特に東側）同様に、JR 清洲駅も。（JR 枇杷島駅のように）美濃路の観光的な整備。せっかくの歴史的な資産を十分に活用しきれてない。
- ・ 名鉄新清洲駅をたまにしか使用しないけど、一般の自転車置場が足りません。（北側）わざわざ駅を通過して南側の駐輪場に行くことを考えると自宅からそんなに遠くないけど、駅まで車で行ってしまいます。もう少し一般者用の駐輪場の数を増やしてほしい。
- ・ 新清洲駅から清洲城へ行くあしがるバスがあると良いと思います。県外からの友人が来た際、自家用車で行くことしかできなかった…。
- ・ 朝夕に駅に向けての便を増やし利便性を向上させることで、駅前の混雑を少しでも解消

- できないかと思います。私自身バスが好きなので、あしがるバスが始まる前は是非乗りたいと思っていたのに、ルートや時間が想像以上に不便で、一度も使っていません。せっかく、税を投入するのであれば、もっと使いやすいあしがるバスに変えていただきたいです。
- 清須市内でもあしがるバス、あしがるサイクルの認知度が低いような感じがします。(特に若い方に) 私自身も自家用車で移動してしまいましたが、利用してみたいとは考えております。今後は認知度アップと利便性の向上を目指してほしいです。
 - 新清洲駅の駐輪場が少ない。どこに止めるんだ。
 - わが家は現在車1台でかつ妻はペーパードライバーである。その妻が子供の健診などの市の母子保健事業に参加するにあたり交通手段はあしがるバス以外にないため、利用を検討していたが、始発バスに乗っても受付時間に間に合わないため、健診日に私が送迎のため仕事をやすんだ。その他の相談会や講習会も本当は参加したいらしいがあきらめたり、乳児をつれて長時間歩いているらしい。子育てのための市の事業にさえ利用ができない。利用しやすいように増便をしてほしい。もしくは、公共交通機関で参加できるような事業日程にするなどの市政の配慮がなければ子育て世代はみな車にたより、利用する人はよりいっそういなくなると思う。
 - 名鉄との関係もあるのだろうけれど、JR 清洲駅に西口を作って欲しい。JR を利用しようとする東口までいかななくてはならなくてとても不便である。そして名古屋にも、一宮、岐阜にも近いのに清須市が発展していかないのは名鉄、JR とともに高架になっていないことです。だから、これを解消して欲しい。朝の渋滞はたまらない。それから、新幹線をくぐる所は大雨になると、通れなくなるのでこれも直して欲しい。この前の大雨の時には名鉄が踏切の所で止まってしまい、しゃ断器はおりたままで2時間足止めをくらってしまった。ふざけんな名鉄。踏切をさけていてくれればあんなことにはなっていなかった。配慮して欲しかった。だから「名鉄」は「ケチ鉄」っていわれるんだ。(ダメテツとも) 電車が動いていないのをいいことに歩行者達はしゃ断器を無視して、踏切を渡ってゆき、それを名鉄の職員は注意していた。けれど、「自分達の行動を棚にあげて何言ってやがる」と思っていました。電車を動かす時に危険だからと言うのだろうけれど、電車を動かす時にこそ遮断機をおろし、鐘を鳴らせばいいと思う。もう少し柔軟に対応して欲しかった。とてもがっかりした。だから冒頭に戻るけれど危機感をもたせなければダメだと思う。
 - あしがるバスを基幹線を中心にし、住宅地には入れない。その分、本数が増やせる(停留所が多すぎないか)。駅、主な観光地、買い物場所、公共施設にし、そこまでは、各自が徒歩、自転車で行く方法もよい。
 - あしがるバスも影響していると思うが、清洲地区、302号、旧祖父江線の慢性渋滞。大雨時のアンダーパス問題も多い、寸断されてしまう。
 - 自宅前にあしがるバス停がありますが、自分が直に行くことがないルートなので(家から駅も近い)どうしても車で行ってしまいます。あしがるバス利用することは=(イコール)自動車を持っていない人が乗ると考えてしまいます。同居している祖父母も、自宅前のバス停がありますが、友人、家族の車に乗せてってもらいます。(少しはずかしいと思っているみたいです)

- 近くにバス停がないので車に乗らなくなった時に困る。
- 高齢者への無料パスの提供。利用者の拡大を図る。特に高齢者の利用を拡大する事により、町の活性化を図り、消費の拡大にも繋げる。

<春日地域>

- ・ 清洲駅まわりの道路がせまく、通行しにくい。これではバスなど走るのは困難であろうし、万が一に走ったとしても大型車両が走ることにより、交通事故の発生にもつながりかねない。至極利便性が悪い。清須内だけ利便性が高まっても意味がない。清須市⇄名古屋のアクセスの利便性を高める工夫をすべき。
- ・ 学生や社会人の為に駅までの利用を考えたバスにした方が良いと思う。朝早い時間や、夜遅い時間の方が利用する人は多いと思う。天候などで利用することはあると思う。バスの時刻で利用する人は年配の免許証か車がない人か、子育て中の車のない方が多いと思うので、バスという形ではなく、タクシーを利用してもらい、それに対しての補助をした方が、時間も距離も短縮できると思います。私はバスじゃなく、違った形での移動手段にお金をかけるべきだと思います。
- ・ 今は40代で車で移動できているが、60代、70代になった時「あしがるバス」はとても有効であると思う。本数を増やし、お年寄の足となって自由にお出かけできると行動範囲が増えとても良い事だと思います。アンケートが反映され使いやすくなると良いなあ。
- ・ 清須市の範囲だけで考えるべきではない。隣接の市と協力し、相互乗り入れを考えたり、共同運行をして乗客を増やしたり、経費を削減し、市民の負担は減らさなくて良いので、運行の充実（広範囲の交通網）を図るべきである。清須市内から例えば西春駅、上小田井駅、名古屋駅等。小牧空港等へも直通で行けるようにして欲しい。
- ・ PR不足で利用率が低いと思いますが、支出金額が非常に多い。利用率が悪い場合、縮小を考えるべきで有り、各市でも縮小・廃止を考えている市も有る。現在の利用率から考えれば廃止を考えるべきで有る。
- ・ 1つのルートが長い為、時間がかかりやすい気がしました。予算もかかる為むずかしいことと思いますが、市の中心点での乗り継ぎ、4つなど路線に分かれるといいなあとも感じました。
- ・ お年寄りが利用しやすいシステムがあればよいと思う。暑い中、寒い中バス停で待つのはとても辛い事だと思う。
- ・ 通勤・通学にも利用できるようにしたら多くの人利用でき、市の負担額も少なくなり良いかと思われます。
- ・ 環境はよく治安もよいのに不便すぎます。毎日、駅への送り迎えがあたりまえである。JR清洲駅は車を停める所すらなく、名古屋市内へ向かう時は仕方なく上小田井（地下鉄）までいきます。距離的にはかわらないので。しかし、どちらにしても車無しではムリです。線路を増やすのは大変です。ですからせめて駅までの交通手段を改正してほしいです。そうすると、もっと、住みやすくなります。
- ・ 現在の所、自分で運転していけるので不自由はしていないのですが、年をとり運転できなくなりどこかへ行こうとした時にないと不自由だと思うので続けてほしいです。
- ・ オレンジルートは本数が少なく買物をするだけです。せめて11:00台、帰り14:00位あるととても嬉しいです。毎日運行はとても良いと思います。北名古屋（北バスは本数も多

くパレで時間の調整が出来てとても良く利用しております。

- ・ あしがるバスのPR（無料デー、イベント、ベンチ）などをよく目にして頑張っていることは知っています。バスを利用したいと思っている人はいっぱいいるので、もっともっと多くの方が利用しやすくなることを期待しました。
- ・ 本庁舎方式により支所の事務が縮小される。本庁舎へ行く回数が増える。年寄り方はなかなか行くのに時間が掛かったり、交通手段がない。せめて、支所と本庁舎の間の直通バスを増設してほしい。現在の状況は非常に時間を要している。（直通バスとは最短の距離で駅はあっても良い、30分以内が望ましい）
- ・ 本数が少なすぎるため、バスを利用しようとはなかなか思わない。いつも走っているイメージがなく、利用しにくい。後、帰宅時間（通勤時間）が充実していると利用する人も多くなると思います。
- ・ JRの西枇杷島と清洲間に新駅を新設してください。＜駅名＞清洲城駅＜場所＞清洲城の近く！
- ・ 私は自家用車があり、健康のため、あしがるバスを利用したことがないが、高齢者の人や自家用車を持っていない人には、あしがるバスは日常生活の中で必要だと思うので、これからも運行して欲しいなと思います。市内であしがるバスが走っているのをみかけると、あたたかい気持ちになります。
- ・ もう1年余で後期高齢者になる1人暮らしの者です。清須市内でも公共機関の便利なところは良いのですが、地区によっては不便なところがあります。スーパーに行くのも、病院に行くのも、その他活動をするには車の運転が必須になります。運転は数年後にはやめなくてはならず、その時には外出する時はタクシーを使用しなくてはなりません。外出するのが大変になってきます。便利なところへの住みかえを考えなくてはと思っています。車の運転が出来ない者も活動できて、生活しやすくなるように公共機関が便利に利用できるようになればと思っています。
- ・ 今は、まだ自分で車を運転する事で不便を感じていないが、今後運転できなくなる様な時はあしがるバスが重要になるので、今以上に便利になる様に願っています。
- ・ 病気、怪我をした場合、近くの病院で見てもらい紹介状を書いて頂きます。稲沢市民病院、済衆館病院を進められますが、他地区の為乗り物の運行がありません。運転しない為、通院する事が出来ません。年を取っても1人で行けるようになれば幸いです。
- ・ バスがあっても、やはり時間を気にせず自家用車の方が便利なので利用してしまいます。
- ・ 近隣の北名古屋市では、清須市、豊山町を含め名古屋市合併と着々と話が上がっている折、清須市行政ならび議会はどの様に考えているのか？春日、自分の住まいからみて、公共機関利用は不便である。
- ・ 清須には東部に有名な朝日遺跡があります。清洲城と朝日遺跡の両方に行きたいというお客様がガイドボランティアをやっていると沢山おられますが、清洲城から朝日遺跡へ行く足がありません。清須の発展の為にも、是非、両方に行ける足をつくっていただきたいと思います。
- ・ 現在は殆どあしがるバスを利用していませんが、自宅が稲沢方面に近い為、稲沢駅、稲

沢リーフウォーク等にバスが運行されるならば利用したいと思います。

- 安い料金で目的地に向かうことが出来、大変有難く思っています。
- 「あしがるバス」を利用している人を見たことがない。本当に必要なものなのか？むだなものにしか思えない。
- あしがるバスのバス停が少なすぎます。私の近くにバス停はありません。
- サクラルートの上之切児童遊園東近くに住んでいます。このあたりの住民は JR 清洲駅を利用することが多いと思いますが、サクラルートのあしがるバスでは JR 清洲駅に行くまでにすごく時間がかかるので、将来できたらつくってほしいと思います。
- オレンジルートは3便ですが、もう1便でもあると助かります。
- あしがるバスの本数をもう少し増やして下されば助かります。バスの運転手さんの態度はすごく親切です。乗っていて明るく感じます。
- 地域の各駅にアクセスするバスを増やしていただきたいです。
- 清須市春日落合に住んでいますが、夜、街灯が少なく、まっくらの為、子供の帰りが遅くなったりする時とても心配です。どうか街灯を増やして下さい。
- 少数でも、利用する人がいる以上あしがるバスは維持した方がいいと思う。
- 今のところ、車で自由に動くことができる50代です。60代、70代になった時、自分で歩いてバスに乗る事ができれば利用することになると思います。目的地まで行く事も、バスの時間と合わせたり、帰りも家まで行くバスがなければタクシーになったりする事もいたしかたないと思います。

清須市公共交通に関する意識調査

《ご協力のお願い》

日頃は、清須市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本調査は、清須市民の皆様の移動実態や公共交通に対するニーズを把握し、市内公共交通の充実を図っていくために、清須市役所と名古屋大学が共同で実施するものです。

調査結果は、今後の清須市の交通政策における参考資料とするほか、本調査に協力している名古屋大学が公共交通に関する学術研究のために使用する場合があります。

本調査にご回答いただく方は、清須市にお住まいの方の中から、住民基本台帳を用いて16歳以上の2,000名を無作為に選ばせていただきました。本調査にご回答いただいた内容を個人情報として保管・処理することはなく、統計的に処理しますので、個人情報が外部に漏れることはありません。

なお、本調査の集計・分析は、名古屋大学大学院 環境学研究科 加藤博和研究室にて実施いたします。ご多忙のところ、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成28年9月

清須市役所 企画部 企画政策課

ご記入にあたってのお願い

- アンケートは必ずあて名の方がお答えください（ご自分で記入できない場合はご家族等に代理で書いていただいて差し支えございません）。
- ご回答は、この用紙に直接ご記入ください。
- ご記入いただいた用紙は、同封の返信用封筒にこの用紙のみを入れ、**平成28年10月7日（金）**までにポストに投函してください。切手は必要ありません。

《調査票返送先》 愛知県名古屋市千種区不老町C1-2（651）
名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻
加藤博和研究室

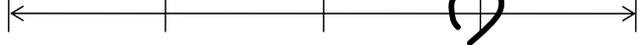
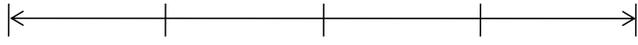
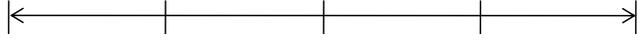
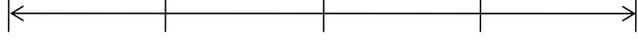
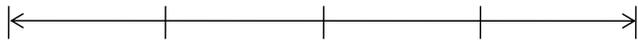
【お問い合わせ】 清須市役所企画部企画政策課 担当：小出・横井 電話：052-400-2911

【調査実施】 名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻加藤博和研究室 担当：北澤・大野・永田
〒464-8603 名古屋市千種区不老町 C1-2(651)

普段の外出についてお聞きします

問1 あなたの主な行き先について、行く回数が多い場所をそれぞれの目的別に例にならって記入してください。

目的	行先	頻度	主な交通手段
例			
病院 (記入例)	1. 済生会リハビリテーション病院 2. 名鉄病院 3. 名古屋第一赤十字病院 4. 稲沢市民病院 5. 総合大雄会病院 6. 済衆館病院 7. あま市民病院 8. 五条川リハビリテーション病院 9. はるひ呼吸器病院 10. その他()	1. 年に1回程度 2. 年に3・4回程度 3. 月に1・2回程度 4. 週に1・2回程度 5. ほぼ毎日	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク・自動車(自分で運転) 4. 自動車(送迎) 5. タクシー 6. バス 7. 鉄道 8. その他()
ご回答			
駅	1. JR 枇杷島駅 2. JR 清洲駅 3. 名鉄新清洲駅 4. 名鉄丸の内駅 5. 名鉄須ヶ口駅 6. 名鉄新川橋駅 7. 名鉄二ツ杵駅 8. 名鉄西枇杷島駅 9. 名鉄下小田井駅 10. 城北線尾張星の宮駅 11. その他()	1. 年に1回程度 2. 年に3・4回程度 3. 月に1・2回程度 4. 週に1・2回程度 5. ほぼ毎日	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク・自動車(自分で運転) 4. 自動車(送迎) 5. タクシー 6. バス 7. 鉄道 8. その他()
病院	1. 済生会リハビリテーション病院 2. 名鉄病院 3. 名古屋第一赤十字病院 4. 稲沢市民病院 5. 総合大雄会病院 6. 済衆館病院 7. あま市民病院 8. 五条川リハビリテーション病院 9. はるひ呼吸器病院 10. その他()	1. 年に1回程度 2. 年に3・4回程度 3. 月に1・2回程度 4. 週に1・2回程度 5. ほぼ毎日	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク・自動車(自分で運転) 4. 自動車(送迎) 5. タクシー 6. バス 7. 鉄道 8. その他()
買い物	1. ヨシヅヤ清洲店 2. ピアゴ清洲店 3. キン清須店 4. フィール清須店 5. ヤマナカ西枇杷島店 6. アオキスーパー西枇杷島店 7. マックスバリュ清須春日店 8. その他()	1. 年に1回程度 2. 年に3・4回程度 3. 月に1・2回程度 4. 週に1・2回程度 5. ほぼ毎日	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク・自動車(自分で運転) 4. 自動車(送迎) 5. タクシー 6. バス 7. 鉄道 8. その他()
公的機関	1. 市役所本庁舎 2. 清洲総合福祉センター 3. 西枇杷島福祉センター 4. 新川福祉センター 5. 春日老人福祉センター 6. アルコ清洲 7. カルチバ新川 8. 春日公民館 9. B&G体育館 10. 夢広場はるひ(図書館・美術館) 11. その他()	1. 年に1回程度 2. 年に3・4回程度 3. 月に1・2回程度 4. 週に1・2回程度 5. ほぼ毎日	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク・自動車(自分で運転) 4. 自動車(送迎) 5. タクシー 6. バス 7. 鉄道 8. その他()
その他	清須市内の場合は詳細な名称と所在地<丁目まで>をお書きください。市外の場合は概略で構いません。 名称 _____ 住所 _____	1. 年に1回程度 2. 年に3・4回程度 3. 月に1・2回程度 4. 週に1・2回程度 5. ほぼ毎日	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク・自動車(自分で運転) 4. 自動車(送迎) 5. タクシー 6. バス 7. 鉄道 8. その他()

自宅 出発時刻	帰宅時刻	あなたはその移動に満足していますか	それぞれの目的地に 徒歩+バス・鉄道のみ で到達できますか。
例			
<p>午前 午後</p> <p>9 時頃</p>	<p>午前 午後</p> <p>12 時頃</p>	<p>大変満足 満足 満足も不満もない 不満 大変不満</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 十分できる 2. できないことはない 3. できない 4. わからない
ご回答			
<p>午前 午後</p> <p>_____ 時頃</p>	<p>午前 午後</p> <p>_____ 時頃</p>	<p>大変満足 満足 満足も不満もない 不満 大変不満</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 十分できる 2. できないことはない 3. できない 4. わからない
<p>午前 午後</p> <p>_____ 時頃</p>	<p>午前 午後</p> <p>_____ 時頃</p>	<p>大変満足 満足 満足も不満もない 不満 大変不満</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 十分できる 2. できないことはない 3. できない 4. わからない
<p>午前 午後</p> <p>_____ 時頃</p>	<p>午前 午後</p> <p>_____ 時頃</p>	<p>大変満足 満足 満足も不満もない 不満 大変不満</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 十分できる 2. できないことはない 3. できない 4. わからない
<p>午前 午後</p> <p>_____ 時頃</p>	<p>午前 午後</p> <p>_____ 時頃</p>	<p>大変満足 満足 満足も不満もない 不満 大変不満</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 十分できる 2. できないことはない 3. できない 4. わからない
<p>午前 午後</p> <p>_____ 時頃</p>	<p>午前 午後</p> <p>_____ 時頃</p>	<p>大変満足 満足 満足も不満もない 不満 大変不満</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 十分できる 2. できないことはない 3. できない 4. わからない

問2 現在、自動車の運転免許（2輪を含む）はお持ちですか？（1つに○をつけてください）

1. 運転免許を持っている
2. 運転免許を持ったことがない
3. かつて運転免許を持っていたが、返納した

問3 自家用車は自由に利用できますか？（1つに○をつけてください）

1. 自分が自由に利用できる自家用車がある
2. 自家用車はあるが、自由には利用できない
3. 自家用車があり、家族に乗せてもらうことができる
（自分は運転しない）
4. 自家用車はあるが、ほとんど利用しない
5. 自家用車がない →問5へお進みください

} →問4へお進みください

問4 問3で自家用車があると答えた方にお聞きします。

（それ以外の方は問5へお進みください）

4—1 自家用車の利用をやめることはできますか？（1つに○をつけてください）

1. 困難なくできる →問5へお進みください
 2. 時々だったらできる
 3. できない（まったく無理）
- } →4—2へお進みください

4—2 やめることが困難な理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

1. バス・鉄道だけでは目的地に行けない
2. バス・鉄道の時間が合わない
3. バス停・駅が近くにない
4. バス・鉄道の移動時間がかかりすぎる
5. 誰かを送迎しなければならない
6. 荷物が重い
7. 自動車の購入費用・維持費の元を取れない
8. その他（ ）

問5 徒歩・自転車での移動についてお聞きします。

5—1 普段自転車をどのくらい使いますか。（1つに○をつけてください）

1. ほぼ毎日（週7日）
2. 平日はほぼ毎日
3. 週3～4日程度
4. 週1～2日程度
5. 月に数回程度
6. 年に数回程度

5—2 自転車での移動の際、その環境（安全性や快適性）に満足していますか。

（1つに○をつけてください）

1. とても満足
2. 満足
3. どちらでもない
4. 不満
5. とても不満

5—3 徒歩での移動の際、その環境（安全性や快適性）に満足していますか。

（1つに○をつけてください）

1. とても満足
2. 満足
3. どちらでもない
4. 不満
5. とても不満

5—4 市内には鉄道が10駅ありますが、自転車や徒歩で最寄りの駅へ行くことについて満足していますか？（1つに○をつけてください）

1. とても満足
2. 満足
3. どちらでもない
4. 不満
5. とても不満

清須市内の公共交通についてお聞きします

「あしがるバス」は、市内の公共施設などを利用するための交通手段の確保や、日中の市内移動の利便性向上のため、平成18年10月から運行されています。年間の利用者は48,000人余りです。運行ダイヤ・経路は同封の「きよすあしがるバス 時刻表 全体ルート図」をご参照ください。

問6 「あしがるバス」についてお聞きします。

6—1 「あしがるバス」についてどの程度知っていますか？（あてはまるものすべてに○をつけてください）

1. 自宅の最寄りバス停
2. 運行時刻
3. 路線（運行ルート）
4. 運賃
5. 主な行先
6. あしがるバスが走っているということしか知らない
7. 全く知らない（アンケートで初めて知った）

6—2 自宅の最寄りバス停から「あしがるバス」を利用しますか？もしくは利用したことはありますか？（1つに○をつけてください）

1. 普段から利用している →6—3へお進みください
2. 車やタクシーなどの利用ができない時に利用する →6—3へお進みください
3. 天候が悪い時（雨天や強風、寒い暑いなど）に利用する →6—3へお進みください
4. ほとんど利用したことはない →6—5へお進みください
5. 利用したことはない →6—5へお進みください

6—3 通勤、通学、通院、買い物など、すべての目的を合わせると、どのくらい「あしがるバス」を利用していますか？（1つに○をつけてください）

1. ほぼ毎日（週7日）
2. 平日はほぼ毎日
3. 週3～4日程度
4. 週1～2日程度
5. 月に数回程度
6. 年に数回程度

6—4 「あしがるバス」の利用目的についてお聞きします。

6—4—1 もっとも多い利用目的は何ですか？（1つに○をつけてください）

1. 通勤
2. 通学
3. 通院
4. 買い物
5. 公共施設の利用
6. その他（ ）

6—4—2 その目的でどのくらい利用されますか？（1つに○をつけてください）

1. ほぼ毎日（週7日）
2. 平日はほぼ毎日
3. 週3～4日程度
4. 週1～2日程度
5. 月に数回程度
6. その他（ ）

6—4—3 その際の主な目的地を教えてください。

{ }

例：清須市役所本庁舎

ヨシヅヤ清洲店 等

6—5 どうすれば「あしがるバス」を今よりも利用したいと思いますか？（あてはまるものすべてに○をつけて、どうすれば利用したいと思うか（ ）内に具体的に記入してください）

1. 本数が増える	どのくらい本数が増えれば利用しますか？ ()分に1本バスが運行すれば利用する
2. 利用したい時間帯の便が運行する	何時頃にどこへ向かうバスができれば利用しますか？ ()時頃に ()へ向かうバスがあれば利用する。
3. 目的地への路線ができる	どこへ向かうバスができれば利用しますか？ ()へ向かうバスができれば利用する。
4. 運賃が安くなる	運賃がいくらなら利用しますか？ 運賃が()円であれば利用する。
5. その他 ()	
6. どうなっても今以上利用することはない →問7へお進みください	

6—6 6—5のような施策が実現して「あしがるバス」が利用しやすくなったら、どこにどのくらいの頻度で行きたいと思いますか？

6—6—1 最も行きたいと思うところと行きたいと思う頻度を回答してください。

{ }へ{ }くらいの頻度で行きたい。

6—6—2 2番目に行きたいと思うところと行きたいと思う頻度を回答してください。

{ }へ{ }くらいの頻度で行きたい。

例：(清須市役所本庁舎) ～ (月に2回) くらいの頻度で行きたい
(ヨシツヤ清洲店) ～ (週に1回) くらいの頻度で行きたい 等

問7 同封した「きよすあしがるバス 時刻表 全体ルート図」をごらんください。「きよすあしがるバス 時刻表 全体ルート図」はわかりやすいですか？

1. とてもわかりやすい 2. わかりやすい 3. どちらでもない
4. わかりにくい 5. とてもわかりにくい

問8 バスと鉄道の乗り継ぎをしやすくするために最も重要なことは何だと思えますか？

(1つに○をつけてください)

1. 待ち時間が短い 2. 乗換え時の歩行距離が短い、階段がない
3. 待ちやすくする（待合室整備など） 4. 時刻表が見やすくなる
5. 路線図が見やすくなる 6. 遅れ情報を知ることができる
7. その他 ()

問9 タクシーについてお聞きします。タクシーは年間何回ほど利用されますか。回数と主な乗車場所をお書きください（自宅、駅、その他）。

年に{ }回ほど{ }から主に乗車する。

清須市の交通政策のあり方についてお聞きします

問 1 0 旧西枇杷島町、旧清洲町、旧新川町、旧春日町の 4 町の合併によって移動に変化はありましたか。 (1つに○をつけてください)

1. 旧他町にとてもよく行くようになった
2. 旧他町によく行くようになった
3. 変わらない
4. 旧他町にあまり行かなくなった
5. 旧他町にほとんど行かなくなった

旧他町とは? : 例) 旧西枇杷島町にお住まいの方は旧清洲町、旧新川町と旧春日町のこと

問 1 1 「あしがるサイクル」についてお聞きします。

主に市外から鉄道等を利用して市を訪れた人の市内での交通手段として、市は「あしがるサイクル」というレンタサイクル事業を運営しています。「あしがるサイクル」は、春季・秋季の土日祝日に1回100円で利用できます。貸出ポイントは名鉄新清洲駅前で、返却ポイントは名鉄新清洲駅前及びキリンビール名古屋工場です。もちろん、市民も利用できます。

1 1—1 「あしがるサイクル」についてどの程度知っていますか？

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. 実施時期
2. 貸出・返却ポイント
3. 利用料金
4. 利用できる時間
5. あしがるサイクルがあるということしか知らない
6. 全く知らない (アンケートで初めて知った)

1 1—2 現在「あしがるサイクル」は主に市外の方向けの交通手段として利用されていますが、市内を移動する交通手段として「あしがるサイクル」を利用したいと思いますか？

1. 利用したいと思います
2. 利用したいとは思わない
3. わからない

問 1 2 市は、「あしがるバス」の一日乗車券を200円で販売しています。このことを知っていますか？

1. 知っていて、利用したことがある
2. 知っているが利用したことはない
3. 知らない

問 1 3 市は、運転免許証を返納された65歳以上の方を対象に、自家用車に代わる交通手段として「あしがるバス」を利用していただくきっかけとするために、無料乗車券(3か月有効)を発行しています。このことを知っていますか？

1. 知っていて、制度を利用して運転免許証を返納した
2. 知っている
3. 知らない

問 1 4 市は「あしがるバス」運行のために、1乗車100円の運賃とは別に平成27年度に年間約3,614万円(市民1人あたり年間約540円となります)を支出しています。

1 4—1 この負担額は妥当だと思いますか？ (1つに○をつけてください)

1. 妥当である → 問 1 5 へお進みください
2. 高すぎる → 1 4—2 へお進みください
3. 安すぎる → 1 4—2 へお進みください

1 4—2 「あしがるバス」運行に関する市民1人あたりの年間負担額はどれぐらいが妥当だと思いますか？

市民1人あたり()円くらい

問15 「あしがるバス」は1乗車100円で利用できますが、運行を維持するための市の負担額は、乗客1人あたり745円です。

15—1 1乗車100円という料金は妥当だと思いますか？

1. 妥当である →問16へお進みください
2. 高すぎる →15—2へお進みください
3. 安すぎる →15—2へお進みください

15—2 「あしがるバス」の運賃はどれくらいが妥当だと思いますか？

1乗車〔 _____ 〕円くらい

問16 「あしがるバス」を含めた公共交通の充実（増発や新路線開設など）には、現在よりも多くの市費（税金）の投入が必要になります。このことを踏まえたうえで今後、市は公共交通へどのように対応していけばよいと思いますか？（1つに○をつけてください）

1. たとえ利用が不便になっても運行経費を抑制すべきである
2. 現状を維持すべきである
3. 経費を増額してでも利便性の向上を目指すべきである
4. わからない

あなた自身のことについてお聞きします

問17 性別を教えてください。（1つに○をつけてください）

1. 男性
2. 女性

問18 年齢を教えてください。（1つに○をつけてください）

1. 10代
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代前半
7. 60代後半
8. 70代前半
9. 70代後半
10. 80代以上

問19 ご職業は何ですか？（1つに○をつけてください）

1. 農業
2. 勤め人
3. 自営
4. パート・アルバイト
5. 無職
6. 主婦・主夫
7. 高校生
8. 学生（大学・専門学校など）
9. その他（ _____ ）

問20 同居の家族は、あなたを含めて何人ですか？（1つに○をつけてください）

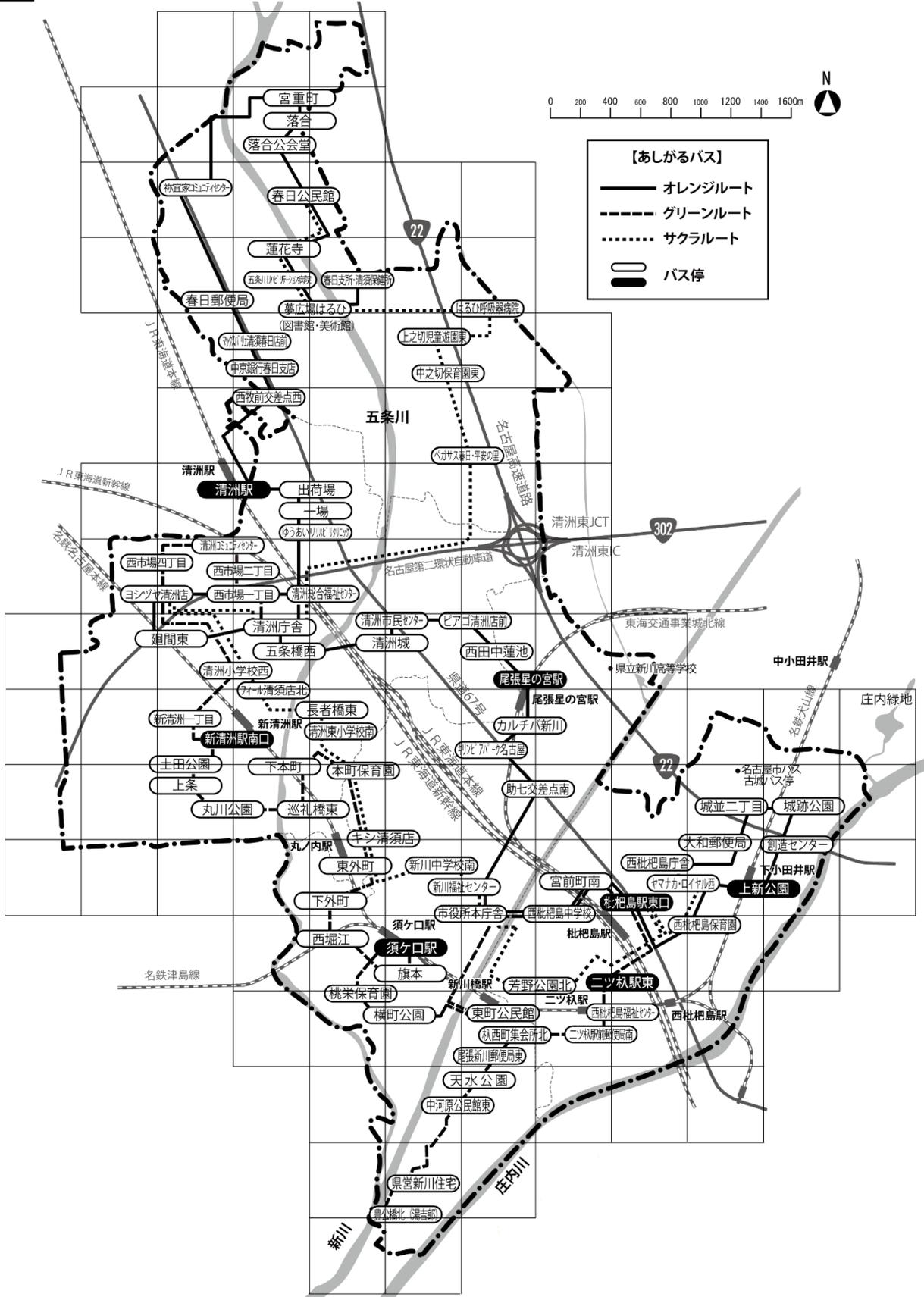
1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人
6. 6人以上

問21 家族構成はどのような状況ですか？（1つに○をつけてください）

1. 本人のみ（1人暮らし）
2. 夫婦のみ（1世代）
3. 親と子ども（2世代）
4. 親と子どもと孫（3世代）
5. その他（ _____ ）

問 2 2 お住まいの地域の場所を教えてください。

2 2—1 以下の地図上で、お住まいの地域の場所を塗りつぶしてください。



2 2—2 2 2—1 の地図上でお住まいの地域が分からなかった方は、以下の小学校区からお住まいの地域を選んで○をつけてください。

西枇杷島 ・ 古城 ・ 清洲 ・ 清洲東 ・ 新川 ・ 星の宮 ・ 桃栄 ・ 春日

問23 清須市内の公共交通に関するご意見がありましたら、ご記入ください。

～ アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました ～

この用紙を同封の返信用封筒に入れ、**10月7日（金）**までに投函してください。（切手不要）



清須市公共交通に関する意識調査
平成29年2月

清須市役所 企画部 企画政策課
〒452-8569

愛知県清須市須ヶ口1238番地
電話 052-400-2911 (代表)
ファックス 052-400-2963